

おおきなせなかに — 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

びより

広報だいせん

だいせん日和

Proud!
Japan

2012

vol.166

3

みんなの願い
天まで届け

弟の肩を抱き寄せ
寄り添いながら天筆焼きを見つめる
被災地福島県の兄弟

「みんながずっと笑えるように」
二人の願いは
炎と共に夜空へ舞い上がった

東日本大震災から間もなく1年
もう一度願おう
復興を みんなの笑顔を

東北は、必ず立ち上がる

【今月の表紙】
2月は小正月行事目白押しの大仙市。被災地支援の一環で福島の子どもたちを大仙市に招き、冬の大典で思い出をつくっていただきました。(詳細85)



CONTENTS_目次

- 004 【4月開校】**統合4学校 校章と校歌**
神岡小学校、西仙北小学校
南外小学校、西仙北中学校
- 008 **市の動き**
東日本大震災被災地支援
福島っ子と秋田っ子の冬期交流プログラム
LED化推進関連事業
宮崎市・大仙市有縁交流提携10周年記念式典
平成24年全国広報コンクール県審査会
だいせん日和県代表として6年連続全国へ
- 010 **市役所からのお知らせ**
太田国民健康保険診療所の職員、臨時職員募集
神岡情報センターパソコン教室
大仙市民大学教養講座受講者募集
冬の節電アクション
子ども手当の申請
第39回大仙市大曲青少年健全育成推進集会
農業委員会選挙人名簿の縦覧
桜守プロジェクト/サクラの手入れに関する講習会
総合民俗資料交流館臨時職員募集 ほか
- 014 **消費生活相談室からのお知らせ**
簡単に儲かるような“うまい話、はありません”
- 022 【オープン】**地域で支え合う ところといのち**
4月3日オープン「ひだまりコーヒーサロン」
気軽に一息つけるリラックススペース
- 015 **公共交通確保のために**
バス路線確保のためには利用率の向上が必要です
- 020 **国保年金課からのお知らせ**
特定健診・特定保健指導を受けましょう
国民健康保険高齢受給者証、福祉医療費受給者証
国民健康保険に関するQ&A
- 028 **健康の達人**
亀谷外科医院/亀谷武彦医師
「胃がん検診について」
- 029 **健康通信**
3月1日～7日 子ども予防接種週間
「大腸がん検診の研究」にご協力いただける方へ
- 031 **いきいき広場**
シリーズ(最終回)：高齢の方のための居場所づくり
「花子さんと太郎さん、地域の方々と交流する」
介護保険事務所からのお知らせ

キャスター 岡弘子さん(神岡)



「取材に出かけ、肌で感じた秋田の魅力やありったけの秋田への愛、を番組で見てもらいたい」と岡さん

「秋田を、早く」「秋田を、詳しく」を番組コンセプトに
県民の暮らしに関わるさまざまなニュースを伝えている
NHK秋田放送局の夕方6時10分からの「ニュースこまち」
1月4日から新キャスターとして神岡出身の
岡弘子さんが活躍している
開局80周年を迎え、さらにパワーアップする秋田放送局
大仙市出身の彼女が秋田の魅力伝える

NHK「ニュースこまち」の新キャスター
「地元出身の私ができること」「秋田の魅力伝えたい」

一家団らん、夕方の「顔」に起用

NHK総合テレビで毎週月曜から
金曜の午後6時10分に放送している
「ニュースこまち」が新年を機にリニ
ューアル。一家団らんの時間帯である
夕方、地域ニュースの新しい女性キャ
スターとして、神岡出身の岡弘子さん
がテレビに登場しています。
番組の顔に起用された彼女。「ニュ
ースこまちは、たくさんの方々にご覧
いただいている番組なのでプレッシ
ョンはありますが、キャスターとして
常に全力投球で秋田の「今」をお伝え
します」と、その言葉から新たな仕事
への使命感を感じ取られます。

ふるさとへの思いを胸にUターン

神岡で生まれ育った岡さん、高校卒
業後は、東京の大学に進学しました。

Profiles おか・ひろこ

1985年10月8日神岡生まれ
神岡町立北神小学校、神岡
町立平和中学校、秋田県立
横手高校、東京女子大学と
進学し、平成20年からNHK
のキャスターを務める
趣味は食べることと歌い
ながらのドライブ

「あの頃は、秋田を出たかったんです。
十代の私にとって、秋田は刺激が少な
いと感じていたんですね。だから、東
京への憧れがありました」と振り返り
ます。
しかし、東京で過ごすうちに、秋田
を恋しいと思う気持ちが日に日に強
くなりました。秋田には家族がいて、
友達もいて、見慣れた風景がある…。

ありったけの秋田への愛で

平成20年からNHK秋田放送局で
キャスターを務め、まもなく4年にな
ります。最初に担当した「ひろまここ
まち」では暮らしに役立つ情報をどう
楽しく伝えるかを考え、気象担当の時
は情報を正確に伝えることを心がけ
てきました。「さまざまな仕事で得た
経験や反省など、4年間のすべてを結
集させてニュースこまちに取り組み
ます」と決意を語ってくれました。
「これまでよりも、もっと広い範囲
に目を向けて、ふるさと秋田と向き合

っていきます」と力強く話す岡さん。
「とにかくどんどん取材に出て、自
分の目で見て肌で感じたことを、背伸
びせず自分の言葉で伝え、一人の秋田
県民としてみなさんと「思い」を共有
できたらと思います」と地元出身者
としての感性を前面に出して番組作り
にのぞんでいます。
1月24日、仙北地域振興局で行われ
た「雪下ろし技能講習会」。寒さに震え
る中で熱心に取材する彼女。冬季の不
慮の事故から県民を守りたいという
願いが、取材姿勢からうかがえまし
た。

出演以外でも、取材や番組の準備で
忙しい日々ですが、神岡の実家に月に
一度は必ず顔を出します。やはり一番
リラックスできる場所。時には家族に
料理の腕を振るうことも。90歳になる
おばあちゃんが「弘子、料理屋になれ
ばいいねが」と褒めてくれるほどの腕
前だそうです。

「秋田で起きていることや課題を取
り上げるだけでなく、人や地域のすば
らしさ、魅力を伝えることも私の大切
な仕事だと思っています。私のありつ
たけの「秋田への愛」を番組を通して
感じてもらえるよう頑張ります」と、
まっすぐな瞳で語る岡弘子さん。今後
の岡さんの活躍から目が離せません。

大仙の逸品
読者プレゼント

締め切り日 3月31日(消印有効)

— お便り送って商品ゲット —

地元素材を使った手作りパン屋さん 質の高い商品をご賞味ください

Vent vert ヴァンヴェール
季節限定ジャムとパンの詰め合わせ



【問い合わせ】ヴァンヴェール
太田町横沢山道南81 ☎0187-88-2900
【営業時間】10:00～16:00(売れ切れ次第終了)
【休日】土・日・祝日

応募方法

発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず広報紙の
感想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。
応募者多数の場合は抽選を行います。当選者の発表は当選通知の
発送をもって代えさせていただきます。

太田地域の県道角館六郷線沿いの手作りパンの店「ヴァンヴェール」の季節限
定ジャムとパンの詰め合わせを3人の方にプレゼントします。

フランス語で「緑の風」を意味する店名。自然豊かな地で、飾ることなく、余計なものを加えず素材と材料にこだわり、確かな技術で一つ一つ丁寧に仕上げた逸品です。
「時代遅れの作り方ですが、質の高いパンを作っています」と店主の倉田伸治さん。「早起きのパン屋さん」の代名詞どおり、夜中3時から生地作りが始まります。材料と作り方で味が変わるパン。「できる範囲で、よいものを、よい作り方を選んでいます」と妥協がありません。店頭に並ぶ20種類のパン以外に、自然の恵みいっぱいのおいしいジャムも作っています。すべて無着色の手作りで、自家農園で採れた素材を生かした季節限定のジャムもあります。

発酵促進剤や防腐剤を使用せず、自然な味わいのパンは主に店頭販売のみで、売れ切れ次第営業終了。「作りたてをその日のうちに食べてもらいたい」と倉田さん。地元素材にこだわり、愛情こもった商品を味わってはいかがでしょうか。なお、プレゼントの当選者は直接ご来店できる方に限ります。

あて先

〒014-8601(住所不要) だいせん日和プレゼント係
ファクス / 0187-63-1119
Eメール / kouhou@city.daisen.akita.jp
※Eメールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。

西仙北小学校校歌

作詞／西仙北の子どもたち
 作曲／天野正道

一 自然の恵む この大地で
 鍛えようよ 強い心
 育てようよ 優しい心
 元気に学ぶ わたしたち
 大きく育てと鳥海山
 ああ 西仙北小学校

二 希望あふれる このまちで
 つなげようよ ふれ合いの輪
 広げようよ 思いやりの輪
 なかよく学ぶ わたしたち
 豊かに育てと雄物川
 ああ 西仙北小学校

枝垂れ桜も 清水も みんな好き
 大杉 大綱 守りゆく
 夢ふくらむ 学び舎
 ああ 西仙北小学校

歌詞は西仙北地域の子どもたちが応募したフレーズを元に作成。作曲は刈和野小学校校歌の作曲者・天野正道さん(秋田市出身)が手がけた。

西仙北小学校

刈和野、土川、大沢郷、双葉の4小学校が統合
 校舎は現在の刈和野小学校を使用
 児童数／刈和野小200人、土川小79人
 大沢郷小42人、双葉小62人(2月1日現在)



校章 Concept

作者／公立秋田美術工芸短期大学
 准教授 坂本憲信さん (刈和野出身)

四つのパズルピースが組み合わさると一つの円になる。それは、4校が統合によってより大きく発展し、さらなる充実に至るという意味が込められている。また、四つのピースは「西仙北」の「西」の文字を模した形で分割されている。そして、翼を広げた鳥のようなシルエットに見える構図をシンボルとしている。

神岡小学校校歌

作詞／佐々木昭元
 作曲／橋本祥路

一 朝の光は さわやかに
 未来をめざし 流れゆく
 雄物川面の きらめきを
 瞳にたたえ 学び合う

二 青くいろ澄む 空ひろく
 希望にみちて そびえ立つ
 神宮寺嶽の 雄々しさを
 心にうけて きたえ合う

むつまじく
 たくましく
 心をつなぐ
 神岡小学校

歌詞は一般応募で「最優秀」となった佐々木昭元さん=神宮寺=の作品。作曲は大仙市民歌の作曲者・橋本祥路さん(大館市出身)が手がけた。

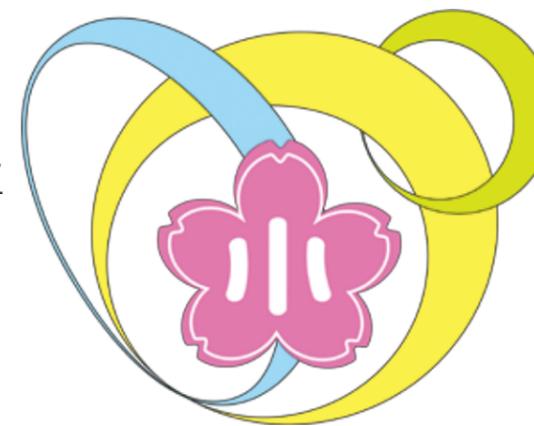
神岡小学校

神宮寺、北神の2小学校が統合
 校舎は現在の神宮寺小学校を使用
 児童数／神宮寺小170人、北神小56人
 (2月1日現在)

校章 Concept

作者／平和中学校
 美術担当教諭 田中真二郎さん

三つの輪(リング)がつながって、神岡の「か」を表している。「優しさ」「かしこさ」「たくましさ」これらが一つとなって新たにスタートしてほしいという願いを込めた。リングの色は、雄物川の水色、嶽山などの豊かな自然の黄緑色、神岡の明るさと繁栄を黄色で表現。旧神岡町の木である桜をメインにし全体的に明るく、さわやかな校章にした。



神岡小学校、西仙北小学校、南外小学校、西仙北中学校

校歌と校章が決まりました

今年4月、神岡、西仙北、南外各地域で学校が統合
 「神岡小学校」「西仙北小学校」「南外小学校」「西仙北中学校」が開校します
 昨年7月に校歌の歌詞と校章を募集したところ、たくさんの方から応募をいただきました
 子どもたちの明るく希望に満ちた明日を願い決定した
 新しい校歌と校章を紹介します

【問い合わせ】教育指導課教育研究所 ☎0187-63-1111 内線321

南外小学校校歌

作詞／南外の子どもたち
 作曲／坂本 昌

一
 緑の中に はじける笑顔
 つらいときでも 輝く瞳
 それが大好き 友だちなんだ
 みんながみんなを大切に
 そんな願いを 伝えることが
 できたらいいな

二
 風がわたる 願いを乗せて
 季節の道を 南へ北へ
 ここが大好き 故郷なんだ
 みんなで歩こう 励まし合って
 夢を信じて つよくやさしく
 できたらいいな

光の中の わたしたち
 このまんまだと これからと
 ここが大好き 南外
 南外小学校

歌詞は南外地域の子どもたちが応募したフレーズを元に作成。作曲は元大曲小学校校長で、大仙市大曲新人音楽祭コンクール実行委員長の坂本昌さん＝大曲上栄町＝が手がけた。

南外小学校

南檜岡、南外西の2小学校が統合
 校舎は現在の南檜岡小学校を使用
 児童数／南檜岡小52人、南外西小85人
 (2月1日現在)



校章 Concept

作者／前南外西小学校校長 小原 靖さん
 (現千屋小学校校長)

旧南外村の村章をリメイクし、中央に「小」をデザイン化して配置した。
 「小」は自然豊かな出羽山地、未来に向かって羽ばたく翼をイメージした。

西仙北中学校校歌

作詞／佐々木正吉
 菅原 瞳(補作)
 作曲／後藤 洋

一
 鳥海山 仰ぎみる
 立志の丘に 風清く
 共に学ぼう 希望を胸に
 われらの夢が 咲くように
 生き抜く力 はぐくもう
 ああ 西仙北 中学校
 心の大地

二
 雄物川 洋洋と
 大地潤し 野を拓く
 共に語ろう 絆を胸に
 われらの夢が 咲くように
 未来に向かい はばたこう
 ああ 西仙北 中学校
 心の泉

歌詞は一般応募で「優秀」となった佐々木正吉さん＝刈和野＝の作品をベースに、魁新聞読者文芸短歌選者の菅原瞳さん＝刈和野＝が補作。作曲は吹奏楽の作曲・編曲で世界的に活躍されている後藤洋さん(大曲出身)が手がけた。

西仙北中学校

西仙北東、西仙北西の2中学校が統合
 校舎は現在の西仙北東中学校を使用
 生徒数／西仙北東中154人、西仙北西中59人
 (2月1日現在)

校章 Concept

作者／元中学校美術教諭 今井弘子さん

西仙北の「西」の文字から「N」を図案化した。二つの学校が新しい一つの学校となる「New」の「N」でもあり、雄物川の流れや未来に向かって伸びていくイメージを表している。



入賞者発表

校歌・校章 一般応募の結果

募集期間／平成23年6月20日から7月20日まで
(歌除略)

神岡小学校

- 校歌(76人から76点の応募)
- 優良賞Ⅱ 石山香穂(北神小3年)、今野創(神宮寺小4年)、武藤瑞穂(同)、渡邊未誘(北神小5年)
- 校章(112人から112点の応募)
- 優良賞Ⅱ 後藤満開(北神小3年)、三浦里子(大曲白金町)、菅原茂(大曲若葉町)、佐々木重衛(神宮寺)、高橋美桜(神宮寺小6年)、富樫咲(同)、佐々木綾耶(同)、今野真結(同)、高橋彩花(同)、齊藤礼奈(同)、小林梨夢(神宮寺小5年)、俵谷日菜子(同)、黒川真琴(北神小5年)、古屋未来(北神小6年)

西仙北小学校

- 校歌(148人から149点の応募)
- 優秀賞Ⅱ 斎藤菜摘(大沢郷小5年)
- 優良賞Ⅱ 藤原初太郎(大曲日の出町)、大沼紗也(刈和野小1年)、田村萌々花(刈和野小4年)
- 校章(143人から143点の応募)
- 優良賞Ⅱ 斎藤菜摘(大沢郷小5年)、菅原茂(大曲若葉町)、齊藤法樹(双葉小6年)、太田翔平(刈和野小5年)、佐々木舞央(同)、佐々木萌李(刈和野小6年)

南外小学校

- 校歌(57人から57点の応募)
- 優秀賞Ⅱ 田口匡倫(南檜岡小3年)
- 優良賞Ⅱ 伊藤日向(南外西小4年)、武藤穂乃花(南檜岡小2年)
- 校章(67人から68点の応募)
- 優良賞Ⅱ 三浦里子(大曲白金町)、菅原茂(大曲若葉町)、伊藤花月(南外西小6年)、佐々木大輔(同)、伊藤菜(同)、高橋早苗(西ノ又滝ノ沢)、打川千里(南外西小4年)、佐々木翔哉(南檜岡小5年)、佐藤航(同)、高橋麻衣(悪戸野)

西仙北中学校

- 校歌(92人から93点の応募)
- 優秀賞Ⅱ 佐々木正吉(刈和野)
- 優良賞Ⅱ 嵯峨昌洋(西仙北東中1年)、伊藤昭人(西仙北東中3年)、伊藤千尋(西仙北東中2年)、佐藤憲一(強首)
- 校章(111人から112点の応募)
- 優良賞Ⅱ 佐々木勇樹(西仙北西中1年)、佐藤悠貴(西仙北西中3年)、佐藤菜同(池田瑞紀(大曲若葉町)、佐々木許妃恵(西仙北東中3年)、阿部園子(同)、菅原茂(大曲若葉町)

たくさんのお応募
 ありがとうございます

Exchange

東日本大震災被災地支援

福島っ子と秋田っ子の冬期交流プログラム 冬の大仙で思い出つくる

昨年3月11日に発生した東日本大震災から間もなく1年。東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県内の子どもたちは屋外での活動を制限されるなど、現在も不自由な日常生活を送っています。

市では、福島の子どもたちに市内の子どもたちと交流しながら大仙の冬を楽しんでもらおうと交流事業を企画。県の「福島っ子と秋田っ子の冬期交流プログラム」を活用し、福島県から親子63人を招待しました。

2月4日から19日までの週末に3回の事業を実施。子どもたちは、茶道体験や刈野の大綱引き、川を渡るぼんでん、弘田柵の冬まつりでの蝦夷ほたる(ミニかまくら作りなど、小正月行事や冬まつりに参加し、大仙の冬を満喫しました。「春になったらまた来たい」と福島県の子ども、市内の子どもたちと交流しながら、楽しい思い出をつくりました。



各地域の子どもたちと交流しながら大仙の冬を楽しんだ

- 1 協和スキー場でのスキー体験
- 2 太田の火まつりでは、福島の子どもたちが絵付けした紙風船が空高く舞い上がった
- 3 刈野の大綱引きに参加。大綱の迫力に興奮

LED Lighting

LED化推進関連事業

各種助成制度を活用ください 省エネ、環境にやさしいLED

今年度実施した「家庭用LED照明購入補助事業」で市内家庭でのLED化が推進されました。

平成24年度は制度の内容を変更(下表参照)して継続するほか、「商店街等が管理する照明設備の補修費等に対する補助事業」については、LED化に対する補助分を拡充して継続。また、街路灯など約9000基をLED化する「LED街路灯E.S.C.O.事業」を新たに実施する予定です。

なお、23年度の「家庭用LED照明購入補助事業」の申請期限は3月30日です。お早めに申請ください。

- ◆23年度家庭用LED照明購入補助事業
対象/平成23年4月1日以降、居住住宅用としてLED電球、またはLED照明器具を市内の家電店等で購入した方
- ◆申請者/市内に住所がある世帯の代表者(世帯主以外でも可)※申請は1

世帯1回のみ。23年度に助成を受けた場合、24年度は申請できません。

◆持参するもの/領収書またはレシート(の原本(メーカー・品番・単価が分かるもの)、通帳(申請者名義、身分証明証(運転免許証等))

◆申請期限/3月30日(金)

【問い合わせ・申請】
各支所市民サービス課
環境交通安全課
☎0187(63)1111 内線277

家庭用LED照明購入補助事業 補助限度額

補助限度額が平成24年度は半額となります。(補助率1/2は変更なし)

| 区分 | 平成23年度 限度額 | 平成24年度 限度額 |
|-----------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 電球 | 10,000円 | 5,000円 |
| 照明器具 ※ | 50,000円 (うち、LED電球分 10,000円まで) | 25,000円 (うち、LED電球分 5,000円まで) |

※電球と照明器具を合わせて購入した場合を含む

宮崎市・大仙市有縁交流提携10周年を祝う記念式典が2月18日、協和市民センター(和ピア)で行われました。

今から144年前の慶応4年(1868年)、戊辰戦争の戦場となった境・上淀川周辺。秋田藩の援軍として約100人の佐土原藩士が参戦、うち8人が尊い命を捧げました。



協和中学校吹奏楽部が宮崎市と大仙市の有縁交流提携10周年に花を添える

それから124年後の平成4年、秋田に佐土原藩士の墓があることを知った遺族をはじめとする宮崎県旧佐土原町(現・宮崎市)の調査団が旧協和町を訪問し、合同慰霊祭を開催。それを機に交流が始まり、平成13年には「有縁交流提携」に調印。現在も「大仙市さどわら会」「宮崎市きょうわ会」が活発な交流活動を行っています。

記念式典では、両市の交流にあたり尽力された方々に感謝状が贈られたほか、歓迎アトラクションでは唐松太鼓保存会、梅若芸能企画、協和中学校吹奏楽部が記念演奏を披露。首都圏秋田歴史と文化の会代表の神宮滋さん(神岡出身)が「戊辰戦争と秋田く九州佐土原藩は、澤副総督は」と題し講演を行いました。

また、記念式典に合わせ、道の駅協和では2月18日と19日の2日間「宮崎佐土原フェア」を開催。佐土原産の野菜直売会などが行われました。

有縁交流提携10周年記念式典

両市のさらなる交流を誓う

宮崎市・大仙市有縁交流提携

LED Lighting

LED化推進関連事業

各種助成制度を活用ください 省エネ、環境にやさしいLED

今年度実施した「家庭用LED照明購入補助事業」で市内家庭でのLED化が推進されました。

平成24年度は制度の内容を変更(下表参照)して継続するほか、「商店街等が管理する照明設備の補修費等に対する補助事業」については、LED化に対する補助分を拡充して継続。また、街路灯など約9000基をLED化する「LED街路灯E.S.C.O.事業」を新たに実施する予定です。

なお、23年度の「家庭用LED照明購入補助事業」の申請期限は3月30日です。お早めに申請ください。

- ◆23年度家庭用LED照明購入補助事業
対象/平成23年4月1日以降、居住住宅用としてLED電球、またはLED照明器具を市内の家電店等で購入した方
- ◆申請者/市内に住所がある世帯の代表者(世帯主以外でも可)※申請は1

世帯1回のみ。23年度に助成を受けた場合、24年度は申請できません。

◆持参するもの/領収書またはレシート(の原本(メーカー・品番・単価が分かるもの)、通帳(申請者名義、身分証明証(運転免許証等))

◆申請期限/3月30日(金)

【問い合わせ・申請】
各支所市民サービス課
環境交通安全課
☎0187(63)1111 内線277

家庭用LED照明購入補助事業 補助限度額

補助限度額が平成24年度は半額となります。(補助率1/2は変更なし)

| 区分 | 平成23年度 限度額 | 平成24年度 限度額 |
|-----------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 電球 | 10,000円 | 5,000円 |
| 照明器具 ※ | 50,000円 (うち、LED電球分 10,000円まで) | 25,000円 (うち、LED電球分 5,000円まで) |

※電球と照明器具を合わせて購入した場合を含む

平

成24年全国広報コンクールへの県推薦作品の審査が行われ、広報紙の部と写真の部で当市の作品が県代表として全国への推薦を受けました。

東日本大震災発生から8カ月間を振り返り、市民総参加の被災地・被災者支援を特集した平成23年12月号が「広報紙の部」で、玉川が流れる花館地区でのサケの捕獲やふ化放流にスポットを当てた命の循環を特集した1月号の写真が「写真の部」で、それぞれ秋田県代表として24年全国広報コンクールに出品されます。

地方自治体の広報活動向上のため昭和39年から実施されている全国広報コンクール。当市の広報紙は19年から県代表として6年連続で推薦を受けているほか、一枚写真、組み写真の部でもコンクールに出品。19年には組み写真、20年には広報紙でそれぞれ入賞、昨年、一昨年は一枚写真で入選をいただきました。



全国コンクールに推薦される平成23年12月号(右)には、審査員から「震災後の取り組みを住民を主役として見事に描きあげている」「広報紙の完成度が高い」との評価。1月号には「朝霧が『生命の循環』というタイトルをうまく表現している。読者を引き込む力がある」などの評価を受けた

「だいせん日和」が県代表に決定

6年連続で全国へ推薦

平成24年全国広報コンクール県審査会

これもひとえに、まちの主人公であるみなさんの頑張りや輝き、そしてみなさん一人一人のご理解とご協力のおかげです。

広報としての役割を胸に、これからも「住民と行政のキャッチボールを行う場」「親しまれ愛される、まちの応援団」としての広報紙を目指していきたいと思います。



「結・絆・輪」 in 大仙

大仙市民大学教養講座受講者募集

【問い合わせ・申し込み】

生涯学習課 ☎ 0187-63-1111 内線 338
FAX 0187-63-7131

市民 民のみなさんの「学びたい」という思いに添えるとともに、人と人との触れ合いを大切に、生きがいや満ちた生活のためのヒントを得ていただくことを目的に開講している「大仙市民大学教養講座」。講座の受講者を募集します。

今回のテーマは「東日本大震災から1年。災害の教訓を後世に」。災害の教訓を生かすための方法や、地域防災・防災教育の必要性など、テーマに沿ってさまざまな角度から講演を行います。

- ◆ **対象** / 全5回の講座を受講できる方
- ◆ **期日** / 下表参照
- ◆ **時間** / 午後6時30分～8時
※初日は午後6時
- ◆ **会場** / 大曲地域職業訓練センター
- ◆ **受講料** / 無料
- ◆ **申し込み方法** / 電話かファクスで生涯学習課に申し込み
- ※ファクスの場合は、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◆ **申込期限** / 3月8日(木)

| 開催期日 | 講師 | 演題 |
|-----------|-----------------------------------|----------------------------|
| 3月 9日(金) | 秋田大学地域創生センター 地域防災アドバイザー・野越三雄さん | 東日本大震災とは何だったのか |
| 3月 13日(火) | | 秋田県の地震対策は 今までどのようなにされたか |
| 3月 16日(金) | 秋田大学地域創生センター准教授・水田敏彦さん | 地域防災・防災教育について |
| 3月 21日(水) | NPO法人「蜘蛛の糸」理事長・佐藤久男さん | 生きる希望と勇気！ 傾聴と被災者支援 |
| 3月 27日(火) | 大仙市教育委員会生涯学習課長・滝沢清寿 | 関東大震災と物部長穂工学博士の 耐震学について |

各講座の詳細



たくさんの参加ありがとうございました 冬の節電アクション

【問い合わせ】

環境交通安全課
☎ 0187-63-1111 内線 277

DATA 冬の節電集計結果 (平成23年12月23日から24年1月15日まで)

節電できた電力量
49,047kWh ☞ 一般家庭約4,900世帯が1日に使用する電力量に相当

削減できた二酸化炭素量
17,340kg ☞ 一般家庭約1,130世帯が1日に排出する二酸化炭素量に相当

参加人数・世帯 / 21,704人・6,220世帯 (昨年度比4,883人・444世帯増)

【一般】 531人・158世帯
【小学校】 9,846人・2,782世帯
【中学校】 6,089人・1,781世帯
【高校】 5,238人・1,499世帯

参加事業所数 / 210事業所

【参加事業所の声】

○前年と比較して電気料金が15～20%安くなり驚いています。節電はいろいろな面で大切なことだと思います。(仙北自動車学校)

○蛍光灯の本数を半分程度に減らしました。初めは薄暗く感じましたが、2、3日したら慣れて気にならなくなりました。今までがぜいたくだったのかなと思います。これからもできるだけ続けたいです。(山口玩具店)



12 月の地球温暖化防止月間に合わせて行った、節電や省エネルギーに配慮した生活に取り組む「冬の節電アクション」の結果をお知らせします。

12月23日から1月15日まで一般世帯や市内の全小中学校、高校、市内事業所を対象に実施。昨年度を上回る2万1704人、210事業所に参加いただきました。

その結果、4万9047キロワットの節電を達成。これは一般家庭約4900世帯の1日の電気使用量に相当します。身近な項目に取り組みことで、多くの電力や二酸化炭素を削減できました。

寒さはまだまだ続きます。体調には十分に留意しながら、無理のない範囲で引き続き節電にご協力ください。



太田国民健康保険診療所

職員および臨時職員募集

【問い合わせ・申し込み】

太田国保診療所 ☎ 0187-88-2233
〒 019-1601 太田町横沢窪関南 501

詳細 は、ハローワークの求人情報をご覧ください。気になる問い合わせください。

職員(看護師・事務員)募集

【看護師】
応募資格 / 看護師または准看護師資格を取得している方
賃金 / 月額17万1200円
※看護師手当(月3万円)、准看護師手当(月2万円)あり

【事務員】
賃金 / 月額14万9800円
※事務手当(月5000円)あり

◆ **募集人員** / 各1人

◆ **勤務時間** /
【月・金曜】午前8時30分～午後5時30分
【火・木曜】午前8時30分～午後7時(早番・遅番あり)
【水・土曜】午前8時30分～午後0時30分
※日曜、祝日、12月30日から1月3日まで、8月13日から15日は休み

◆ **採用予定日** / 4月1日(日)

◆ **申し込み方法** / 写真を貼った履歴書を提出(郵送可)
※看護師に応募する方は、資格を証明する書類の写しを添付

◆ **申込期限** /
3月10日(土)正午※必着



太田国民健康保険診療所

臨時職員(看護助手)募集

◆ **募集人員** / 1人

◆ **勤務時間** /
【火・木曜】午後2時～7時
【水・土曜】午前8時30分～午後0時30分

◆ **賃金** / 時給800円
※看護師または准看護師資格を取得している場合は、時給1000円

◆ **採用予定日** / 4月1日(日)

◆ **申し込み方法** / 写真を貼った履歴書を提出(郵送可)
※看護師または准看護師資格を取得している方は、資格を証明する書類の写しを添付

◆ **申込期限** /
3月10日(土)※必着



基礎から学べるパソコン教室

神岡情報センターパソコン教室

【問い合わせ・申し込み】

神岡支所市民サービス課
☎ 0187-72-2111

各コースの日程等

| コース名 | 対象 | 期日 | テキスト代 |
|-----------|-----------|--|--------|
| 初めてのパソコン | 初心者 | 4月10日(火)、13日(金)、17日(火)、20日(金)、24日(火) | 500円 |
| ワード基礎 | 文字入力のできる方 | 5月8日(火)、11日(金)、15日(火)、18日(金)、22日(火)、25日(金) | 2,100円 |
| デジタルカメラ入門 | 文字入力のできる方 | 5月23日(水)、30日(水) | 500円 |
| エクセル基礎 | 文字入力のできる方 | 6月5日(火)、8日(金)、12日(火)、15日(金)、19日(火)、22日(金) | 2,100円 |
| ワードでチラシ作成 | 文字入力のできる方 | 6月26日(火)、29日(金) | 500円 |

パソコン 初心者や文字入力のできる方を対象にしたパソコン教室の受講者を募集します。

講師がゆっくり丁寧な指導します。パソコン操作を基礎からじっくり学べるチャンス。この機会に、ぜひ申し込みください。

◆ **会場** / 神岡総合情報センター
◆ **定員** / 各コース12人
◆ **申し込み開始** / 3月12日(月)

※申し込みは同時に2コースまでの方

◆ **対象** / 市内在住、在勤または在学している18歳以上の方

◆ **時間** / 午後2時～4時



パソコン操作を基礎から学べるチャンス。ぜひ申し込みください。

東日本大震災義援金の受け付けは1月31日に終了しました

ご協力ありがとうございました

義援金総額 8,403,359円

受け付け期間／平成23年3月12日から24年1月31日まで

義援金は、日本赤十字社秋田県支部を通じて全額送金しました。みなさんのご協力ありがとうございました。

中学校卒業前までの子どもがいる方へ 子ども手当の申請はお済みですか

平成23年10月分からの子ども手当を受け取るためには、9月分まで受け取っていた方も含めて3月30日までの申請手続きが必要です。(公務員の方は勤務先へ申請) 期限までに申請すれば、10月分からの手当を受給できますが、期限を過ぎると申請の翌月分からの支給となります。必ず期限までに申請してください。

◆持参するもの

印鑑、請求者本人の健康被保険者証、請求者本人名義の通帳
※子どもが市外に住んでいる場合は、子どもの世帯の住民票謄本

◆申請期限／3月30日(金)

【問い合わせ・申請先】
各支所市民サービス課
児童家庭課 内線103

農業委員会委員 選挙人名簿の縦覧

平成24年1月1日現在で調製した「農業委員会委員選挙人名簿」を縦覧中です。
◆縦覧期間／3月8日(木)まで
◆時間／午前8時30分～午後5時

◆会場／選挙管理委員会事務局(神岡庁舎内)

【問い合わせ】
選挙管理委員会事務局
☎0187(72)2167

桜守プロジェクト サクラの手入れに関する講習会

樹木医によるサクラの手入れ方法の講習やボランティア活動の紹介、サクラの手入れの実技を行います。

◆対象／サクラの保全活動に関心のある方
◆日時／3月25日(日) 午前9時～11時

◆会場／大曲農業高校敷地内

◆定員／20人
【問い合わせ・申し込み】
総合政策課 内線236



- 大曲庁舎(本庁) ☎0187-63-1111
- 大曲南庁舎 ☎0187-66-4905
- 土地区画整理事務所 ☎0187-63-0542
- 神岡庁舎 ☎0187-72-2111
- 西仙北庁舎 ☎0187-75-1111
- 中仙庁舎 ☎0187-56-2111
- 協和庁舎 ☎018-892-2111
- 南外庁舎 ☎0187-74-2111
- 仙北庁舎 ☎0187-63-3003
- 太田庁舎 ☎0187-88-1111

大仙市ホームページ
www.city.daisen.akita.jp

毎月第2・第4木曜日は子育てママの就職相談
時間／午後1時～4時
会場／女性センター
※無料の託児サービスあり
問い合わせ・申し込みは女性センターへ
☎0187-62-1713

information
3月、4月は市民課窓口が混み合います。
住民異動などの届け出はゆとりをもって早めに行いましょう。

「人と農地の問題解決に向けた施策」に関する説明会

農業経営者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などで地域農業の展望が描けない集落や地域が全国的に増えています。
農林水産省では、これらの問題の解決に向けた施策に関する説明会を行います。

◆期日・会場

○3月12日(月)・神岡農村環境改善センター
○3月13日(火)・協和市民センター(和ビエ)

◆時間

○3月14日(水)・仙北ふれあい文化センター
◆時間／午後2時～4時

◆内容

◆内容／集落(地域)の話し合いでつくる「人・農地プラン」、新規就業関連施策、農地集積対策、融資制度についての説明
【問い合わせ・申し込み】
各支所農林建設課
農林振興課 内線244

会話ではぐくむ心と心 第39回大仙市大曲青少年健全育成推進集会

「会話ではぐくむ心と心」をテーマに開催します。心身共に健全な青少年の育成を目指し、青少年が抱える「心の問題」や環境の変化について、講演をもとに参加者が話し合いながら理解と認識を深めます。

◆日時

○3月9日(金) 午後1時30分～(午後1時受け付け開始)

◆会場

◆会場／大曲交流センター

◆入場料

◆入場料／無料

◆講師

◆講師／元高校教諭(生活指導担当)・奈良慶助さん
【問い合わせ・申し込み】
生涯学習課
☎0187(63)7262



話題作映画鑑賞会 「ツレがうつつになりまして。」

◆期日

◆期日／3月23日(金)
◆時間／【昼の部】午後1時30分～3時30分
【夜の部】午後6時30分～8時30分

◆会場

◆会場／中仙市民会館(ドンパル)

◆チケット料金

◆チケット料金／
【一般】前売り1000円
(当日1200円)
【シルバー(60歳以上)】
前売り当日とも1000円

◆高校生以下

◆高校生以下)前売り800円(当日1000円)
※就学前の子どもは無料。乳幼児と一緒の方は親子室で鑑賞ください。

◆チケット販売

◆チケット販売／中仙市民会館(ドンパル)、大曲市民会館、仙北ふれあい文化センター、協和市民センター(和ビエ)

【問い合わせ】

中仙市民会館(ドンパル) ☎0187(56)7200

「家庭でできる身近な地球温暖化防止講演」 「ダンボールを使った生ごみ堆肥化講座」

ガーデニングや家庭菜園にも使える堆肥作りを学びながら、地球温暖化防止について考えてみませんか。

◆対象

◆対象／市内在住で地球温暖化防止や生ごみ堆肥に興味のある方

◆日時

◆日時／3月10日(土) 午前10時～正午

◆会場

◆会場／大曲交流センター

◆定員

◆定員／30人

◆参加費

◆参加費／無料

◆申込期限

◆申込期限／3月7日(水)
◆内容・講師
○「家庭でできる身近な地球温暖化防止」・環境省認定環境カウンセラー 朝倉孝子さん
○「チャレンジ!ダンボールで堆肥づくりとは?」・あきたエコマイスター 照井昌子さん
【問い合わせ・申し込み】
農林振興課 内線245
環境問題について考えてみませんか

教育支援制度を活用ください

1 学習費用を援助 大仙市就学援助制度

市では、経済的な理由で困っている小・中学生の保護者に、子どもの学用品費等の一部と学校給食費を援助しています。制度の詳細については、学校を通じて通知します。希望する方は、教育総務課に相談ください。

【問い合わせ】
教育総務課 内線347

2 大仙市奨学生募集

◆応募資格

①親権者が大仙市に居住していること
②平成24年4月に大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学していること
③他の団体などから、学資の給付や貸与を受けていないこと

◆貸付額および定員

◆貸付額／月額2万円、10人以内
◆奨学金
【奨学金】
高校生／月額2万円、10人以内
専門学校・短大・大学生／月額4万円、20人以内

◆願書受付期間

◆願書受付期間／4月2日(月)から27日(金)までの午前9時～午後5時
(土・日、祝日を除く)

◆願書および募集要項

◆願書および募集要項／教育総務課、各地域の公民館に用意
【問い合わせ・願書提出】
教育総務課 内線333

臨時職員募集

総合民俗資料交流館 臨時職員募集



4月に新たに開館する民俗資料館(旧峰吉川小学校)の臨時職員を募集します。詳細は、ハローワークの求人情報をご覧ください。

◆職種

◆職種／施設管理人

◆募集人員

◆募集人員／1人

◆雇用期間

◆雇用期間／4月1日から9月30日まで
(更新の場合あり)

◆勤務時間

◆勤務時間／午前8時30分～午後5時15分

◆休日

◆休日／土・日、祝日(休日勤務となる場合もあります)

◆勤務場所

◆勤務場所／大仙市総合民俗資料交流館(協和峰吉川)
◆賃金／日額5700円
◆申し込み方法／写真を貼った履歴書とハローワークの紹介状を文化財保護課に提出(郵送可)
◆申込期限／3月9日(金)
※必着

臨時職員募集

子ども読書支援サポーター募集

市内の小・中学校と連携して図書室の整備と読書活動の支援を行う「子ども読書支援サポーター」を募集します。選考は書類審査の上、面接で行います。詳細は、ハローワークの求人情報をご覧ください。

◆応募資格

◆応募資格／司書資格を取得している方(取得見込み可)

◆募集人員

◆募集人員／1人

◆雇用期間

◆雇用期間／4月1日から9月30日まで

◆勤務時間

◆勤務時間／月曜から金曜までの午前9時～午後5時15分

◆賃金

◆賃金／時給740円

◆申し込み方法

◆申し込み方法／写真を貼った履歴書とハローワークの紹介状を大曲図書館に提出(郵送可)
◆申込期限／3月9日(金)
※必着

【問い合わせ・申し込み】

大曲図書館(大曲庁舎向かい) ☎0187(62)1012
☎0187(62)1012
〒014-10062
大曲上菜町2-16

ひとりで悩まず
相談はお早めに

注意しましょう 簡単に儲かるような 「うまい話」はありません

必 ず儲かるなどと言いつつ、勧誘する悪質業者が増えています。あなたにもこんな電話がかかってきませんでしたか。

「**値上がり確実・高配当**」
「**未公開株を買わないか**」
業者からの電話勧誘

「未公開株があるから買わないか」と業者から電話勧誘を受け、「年内には相場予定」「値上がり確実」「高配当」などの甘い言葉に誘われ、数百万円を支払い株を購入。しかし実際は相場はなく、勧誘された業者に電話しても通じなくなります。

「**必ず儲かりますよ**」
「**ワンルームマンション経営**」
に関する電話勧誘

最近多発しているのが、「ワンルームマンション経営」に関する電話勧誘。「絶対損はしません」としつこく勧誘し、断つても何度も電話をかけてきます。

対策

「うまい話」に
だまされないために

断りきれずに会う約束をし、会って話を聞いてしまったら最後。長時間にわたり勧誘され、最終的には強引に契約させられます。契約後に現金を振り込むと業者とは一切連絡が取れなくなってしまう。

まず大切なのは「自分で自分の身を守る」こと。簡単に儲かるような「うまい話」はありません。「必ず儲かる」などと、断定的な説明をして勧誘することは法律で禁止されています。日ごろから注意し、勧誘に付き合わないことが第一です。また、内容や仕組みが理解できないものは契約せず、必要がなければぎつぱり断ることが大切です。自分の情報を教えるような悪い業者の話は、絶対に信用しないこと。このような勧誘を受けた場合は、すぐに消費生活相談室に相談ください。

ス

スマートフォンもコンピュータウイルスに感染することを知っていますか。

スマートフォンは、従来の携帯電話機能の他にも多くの機能を搭載した携帯電話。スマートフォンはパソコンに電話の機能が付いたものと考えてください。

最近、スマートフォンがインターネットの利用を通じてコンピュータウイルスに感染する被害が増えています。感染するとメールや位置情報などの個人情報流出する場合もあります。スマートフォンでアプリ(パソコンのアプリケーションソフトと同じ)をダウンロードする際は、正規のサイトからダウンロードするなど、コンピュータウイルスに感染しないよう注意しましょう。※万が一コンピュータウイルスに感染してしまった場合は、パソコン同様、ウイルス駆除ソフトで駆除することができます。

被害の未然防止のために

悪質商法の最新情報や対策方法などについてお知らせします

消費生活相談室
「出前講座」

巧妙な手口で消費者を狙った悪質商法などによる被害が増えています。

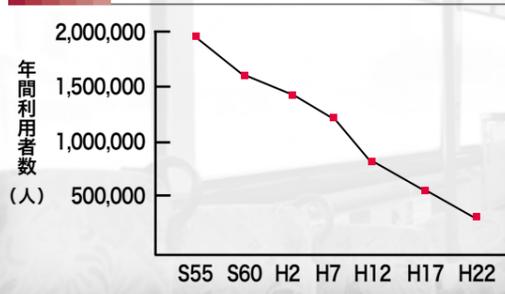
市では、被害の未然防止を図るため、地域に出向き市民のみなさんに悪質商法の最新情報や対策方法などをお知らせする出前講座を行います。

自治会や各種サークル等の団体、または少人数のグループなど対象は問いません。開催を希望する方は、消費生活相談室に申し込みください。

◆開催費／無料
◆申込期限／講座開催希望日の10日前

【問い合わせ・申し込み】
消費生活相談室
☎0187(63)1136

DATA 路線バス利用客の推移 (羽後交通大曲営業所)



**大切な「地域の足」路線バス
止まらぬ利用者の減少**

誰もが利用できる交通手段として地域に密着し、住民の生活を支えてきた「地域の足」ともいえる路線バス。自家用車の普及や少子化などにより、その利用者が激減しています。左のグラフは、羽後交通大曲営業所管内の路線バス利用客の推移。減少の一途をたどっているのが一目分かります。利用者が大幅に減少すると、それに伴い不採算路線、いわゆる赤字路線が増加します。赤字路線は徐々に縮小されて

運行本数も減少、さらに利用者が離れるという悪循環を招きます。

平成14年の道路運送法の改正による規制緩和で路線廃止などが原則自由になったほか、赤字路線に対する補助制度も変更。国の補助基準から外れた路線は、県や市からの補助で延命していますが、それも限界に近い状況です。

**千屋線の「平均乗車密度」
1人を切る**

1便あたり、始点から終点までをとおして何人乗っているかを表す「平均乗車密度」という数値。これがバス路線がどれだけ利用されているかの目安となります。

また、県の補助制度ではこの数値を対象基準として用いており、「1人以上」の路線を補助対象としています。

利用率が低く、平成23年度の補助対象期間(平成22年10月～23年9月)の平均乗車密度が1人を切ってしまった千屋線。これにより県の補助対象外となってしまう。このままでは路線の維持が難しい状況です。

**「地域の足」は「生活の足」
なくてはならない「命綱」**

自家用車による便利な移動が可能になった一方で、自動車を運転できない方にとって公共交通は大切な移動手段。そこには「地域の足」としてだけでなく、「生活の足」としての役割があります。「命綱」と言っても過言ではありません。現在は自家用車やバイクなどで移動している方も、将来はバスや鉄道などの公共交通機関を頼りにする時がくるかもしれません。その時、身近に公共交通がなかったら、移動手段の確保に苦労することになると思います。

**公共交通の確保には
多くの利用が欠かせない**

赤字路線の増加と廃止を防ぎ、公共交通を確保するためには、地域に住む一人一人がその存在を認識することが大切です。そして、より多くの方の利用が有効です。

地域の足であり、生活の足である公共交通。路線の維持と確保のため、みなさんの積極的な利用をお願いします。

「地域の足」「生活の足」 公共交通 確保のために

仙北地域、美郷町をとおり太田地域までを走るバス路線羽後交通「千屋線」——今、存続の危機を迎えています。大切な公共交通を確保するためには、利用率の向上が必要です

【問い合わせ】
各支所市民サービス課
総合政策課 ☎0187-63-1111 内線236





大綱に付けられた小綱を握りしめ、渾身の力を込めての引き合い

刈 3年連続で上町が勝利 和野の大綱引き

国指定重要無形民俗文化財の「刈和野の大綱引き」が2月10日、西仙北の刈和野大町通りで行われました。上町(二日町)と下町(五日町)に分かれて引き合う大綱引きは、まちを二分して行われる真剣勝負。上町が勝てば米の値が上がり、下町が勝てば豊作になるといわれています。上町と下町の綱を合わせる綱合わせが終わり、勝負開始の合図が出されると、「ジョウヤサノー」の掛け声に合わせて、参加した約7,000人が渾身の力で引き合いました。約30分の勝負の後、3年連続で上町に軍配が上がりました。

発 大曲ライオンズクラブ 電機を市に寄贈

大曲ライオンズクラブ(藤谷文雄会長)からインバーターガソリン発電機5台を市に寄贈いただきました。1月27日に四ツ屋公民館で行われた贈呈式では、藤谷会長が「東日本大震災では市内の多くの地域が停電になった。非常時に役立つしてほしい」とあいさつ。栗林市長に記念のキーを手渡しました。発電機は四ツ屋、内小友、藤木、角間川、大川西根の各公民館に1台ずつ配備し、災害発生時などの非常用として活用させていただきます。



栗林市長に記念のキーを手渡す藤谷会長(写真右から2人目)



太 初の全県優勝に輝く 田中学校女子バレーボール部

秋田県中学校秋季バレーボール大会で優勝した太田中学校女子バレーボール部。2月18日に宮城県で行われた第5回東北中学校親善バレーボール大会に出場し、東北各県の強豪チームと対戦。準優勝に輝きました。同部が中体連主催の全県大会で優勝したのは初めて。「経験者ゼロ、全員が中学からバレーを始めた選手たち。粘りが信条のチーム」と顧問の阿部光教先生が話すように、秋田市第一代表の城南中との決勝では第1セットを落としたものの、2セットを苦しみながらももぎとり、続く3セットを連取。初の全県制覇を果たしました。「チームワークの良いチーム。バレーボールがうまくなりたいという気持ちで、先輩後輩関係なく練習に励んでいます。これからも挑戦者の気持ちを忘れず試合に臨みたい」と高階理愛キャプテン(2年)。今夏の全県大会優勝に照準を合わせています。



県大会で2グループともに金賞に輝いた協和小プラスバンド部

協 全日本アンサンブルコンテスト東北大会 和小学校プラスバンド部が銀賞を受賞

協和小学校プラスバンド部(斎藤聡顧問・部員数32人)が1月21、22日に秋田県会館で行われた全日本アンサンブルコンテスト県大会に出場。管打楽器八重奏と同七重奏の2グループともに金賞を受賞し、2月12日に山形県天童市で行われた東北大会に出場しました。県大会では「曲の雰囲気に合わせて、みんなで気持ちの込められた演奏ができた」と児童。「チームワークで最高の演奏をしたい」と臨んだ東北大会では、2グループともに銀賞に輝きました。

第 4回大仙市長杯争奪なぎなた大会・ハンドボール大会

秋田わか杉国体で、なぎなた競技とハンドボール競技の会場となった大仙市。両競技の開催を記念し、国体での感動を次代へ伝えていこうと「第4回大仙市長杯争奪なぎなた大会・ハンドボール大会」が1月29日に行われました。大曲武道館で行われた「なぎなた大会」には大曲なぎなたスポーツ少年団、大曲高校・大曲農業高校のなぎなた部、一般選抜チームが出場。大曲体育館で行われた「ハンドボール大会」には市内から大曲ミニハンドボールスポーツ少年団が参加。それぞれ市長杯を目指して熱戦を繰り広げました。各大会の成績は次のとおりです。 <敬称略> **なぎなた大会【演技競技】**▼優勝=鈴木優翔・藤嶋晴(大曲なぎなたスポ)▼準優勝=嵯峨遥陽・川本香澄(同)▼3位=古谷綾子・辻原萌花(同)、長谷部美咲・佐々木春歌(同) **【団体試合】**▼優勝=大曲高A▼準優勝=大曲高C▼3位=大曲高B、大曲農高A **ハンドボール大会【男子の部】**▼優勝=羽後町ハンドボールスポ少▼準優勝=大曲ミニハンドボールスポ少A▼3位=湯沢市ハンドボールスポ少 **【女子の部】**▼優勝=湯沢市ハンドボールスポ少▼準優勝=大曲ミニハンドボールスポ少▼3位=羽後町ハンドボールスポ少

- 1 力強いシュートを放つ大曲ミニハンドボールスポ少のメンバー
- 2 張りつめた空気の中、激しく打ち合うなぎなた競技



鳥 商売繁盛、五穀豊穡を祈願 子舞・大曲の綱引き

2月15日に大曲で行われた鳥子舞と大曲の綱引き。諏訪神社境内で行われた鳥子舞では、神官が舞いを奉納。商売繁盛にご利益があるとされる御神木が今年の恵方(縁起のよい方向)に捧げられ、男衆の中に投げ入れられると激しい奪い合いが繰り広げられました。大曲の綱引きで使用される綱は蛇体を表し、夜には、42の厄年を迎えた男衆が綱を引きながらまちを練り歩きました。綱には倒して回すと財が振りまかれると言われるザイフリ棒が結わえつけられており、道中は棒を回そうとする男衆と棒を守る厄年の男衆が激しくもみ合いました。午後9時頃、綱は大町交差点に到着。上丁と下丁に分かれて綱が引かれ、今年下丁が勝利しました。

- 1 詰めかける男衆の中に投げ入れられる御神木
- 2 ザイフリ棒をめぐる激しいもみ合い



川 銀世界の中、色鮮やかに映える を渡るぼんでん

小正月行事「川を渡るぼんでん」が2月11日、大曲の花館で行われ、川面に映える色鮮やかなぼんでんを一目見ようと多くの見物客が雄物川渡船場を訪れました。

五穀豊穡を祈願する地区の伝統行事で、ぼんでんを舟に乗せて川を渡るのは、数あるぼんでん奉納の中でも、大曲だけ。町内で披露されたぼんでんは、船に乗って約50分先の対岸に渡り、標高約200mの伊豆山神社を目指しました。

神社では、神主からおはらいを受けた15本のぼんでんが社殿に無事奉納されました。



雪の白を背景に川面に映える色鮮やかなぼんでん。中には「絆」の文字が入ったぼんでんも

払 穏やかな光が史跡の里に広がる 田柵の冬まつり

払田柵の冬まつりが2月19日、仙北の国指定史跡「払田柵跡」で開かれ、親子連れなどでにぎわいました。

まつりでは、参加者同士で協力し約600個の「蝦夷ほたる」（ミニかまくら）を製作。手作りのミニかまくらの中にろうそくを灯し、かつてこの地に住んでいた古代人の魂と飛び交っていたホタルの光を表現しています。辺りが暗くなると、ライトアップされた払田柵南門を背景に小さな光の群れが一面に広がり、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。

日中は、雪中グラウンドゴルフ大会や「けっち滑り」のほか、鍋まつりや餅つき体験などが行われ、来場者は冬ならではのイベントを満喫しました。



1 払田柵南門を背景に一面に広がる「蝦夷ほたる」の光。幾千のホタルが舞い降りたかのような、幻想的な雰囲気に包まれた史跡の里
2 「福島っ子と秋田っ子の冬期交流プログラム」（詳細8ページ）で払田柵の冬まつりを訪れた福島の子どもたちも「蝦夷ほたる」づくりに挑戦

太 みんなの願いを寄せ、夜空に舞う紙風船 太田の火まつり

太田の火まつりが2月18日、奥羽山荘西側広場で開かれ、紙風船上げや天筆焼き、雪中田植え、東今泉八幡太鼓の演奏などが行われました。

メインの紙風船上げでは、地元集落や小学校などで作られた43個の紙風船が登場。思い思いの願い事やイラストが描かれた色とりどりの紙風船が浮かび、来場者は夜空高く上がっていく紙風船を見守りました。

まつりの最後には、わらを積み上げた高さ10mの「かまくら」に火が放たれ、家内安全や無病息災を願う天筆焼きが行われました。

1 「福島っ子と秋田っ子の冬期交流プログラム」（詳細8ページ）で大仙市を訪れた福島の子どもたちも紙風船に絵付けした。紙風船に書かれた「福島まけるな」「がんばろう東北」の思いと「ありがとう大仙」のメッセージ
2 来場者が見つめる中、燃え上がる天筆



山王丸副市長から長寿祝い金を受け取る工藤さん

工 いつまでもお元気で 藤キミノさんが 100歳の誕生日を迎える

西仙北の工藤キミノさん＝刈和野＝が2月17日に100歳の誕生日を迎えられ、20日に山王丸副市長から長寿祝い金を手渡されました。

神宮寺浦に生まれた工藤さんは、20歳で結婚。4男2女をもうけ、現在は長男の妻と2人で暮らしています。噛みにくいものや辛いもの以外は好き嫌いなく何でも食べるほか、身の回りのことはすべて自分で、外で草むしりもする工藤さん。近所に住む孫夫婦との食事が毎晩の楽しみです。

長寿の秘訣は「何でも食べて、自分のペースで過ごすこと」と話す工藤さん。長寿おめでとうございます。

国 異文化に触れ合い交流を楽しむ 国際フェスティバル in 大仙

国際フェスティバル in 大仙が2月19日、イオンモール大曲で開かれました。

国際交流や国際協力活動をしている個人・団体を紹介し、県内在住の外国出身の方々と地域の方々との触れ合いをとおして、さまざまな文化への理解を深めてもらおうと開催。市と大仙市国際交流協会が企画し、今回で4回目となります。

会場には韓国やイタリア、アメリカ、オーストラリアなどのブースが並び、各国の出身者が民芸品や食材、写真などで国を紹介。また、特設ステージでは恒例となった民族衣装のファッションショーが行われたほか、民族舞踊や歌なども披露。来場者は異文化の空気に触れながら、交流を楽しみました。



県内の国際交流員(CIR)と外国語指導助手(ALT)によるブース

特定健診・特定保健指導を受けて
メタボリックシンドローム予防を

平成22年度 大仙市国民健康保険特定健康診査実施状況は次のとおりです。

市では、特定健康診査等実施計画を策定し、平成24年度までに65%以上の受診率を目標としていますが、毎年度受診率が低下しています。普段通院している方なども健診対象者となっていますので、自分自身の健康管理のため、必ず受診しましょう。

| | |
|---------------------------------|---------|
| 40歳～74歳までの 国保加入者のみなさん | |
| 特定健診・特定保健指導 を受けましょう。 | |
| 対象者数 | 18,331人 |
| 受診者数 | 7,056人 |
| 健診受診率 | 38.5% |

- ◎対象者数・受診者数は、40歳以上で平成22年4月1日から23年3月31日まで年間をとおして国保に加入していた人数です。
- ◎特定健診は無料で受けられます。さらに平成24年度の健診では、40歳～49歳の受診者全員に通常の特定健診検査項目に心電図検査・眼底検査を追加して実施する予定です。
- ◎24年度の健診は5月(太田地域)から始まります。肺がん・大腸がん・前立腺がん検査は特定健診と同時に受診できます。ご家族そろって受診しましょう。

**定年などで長年勤めた会社を退職し、
国民健康保険へ加入する方へ**

国保には退職者医療制度があります。対象は、厚生年金や各種共済組合の老齢年金を受給している、その加入期間が20年以上、または40歳以降に10年以上ある65歳未満の方が対象です。国民健康保険の加入手続きの際は、資格喪失証明書と一緒に年金証書も持参ください。(退職後、健康保険を任意継続していた方が、国保に加入する場合も同じです)

**修学のため他市町村に転出される
国保加入者の方へ**

大仙市の国民健康保険加入者で、4月から修学のために大仙市外へ転出する方は、引き続き大仙市の国民健康保険に加入することになります。その際、修学先の在学証明書が必要となります。※在学中で、すでに手続きが済んでいる方は再手続きの必要はありませんが、在学期間が延長された方は手続きが必要です。

**届出をお忘れなく
国保から別の健康保険に加入したとき**

国保から職場等の健康保険に加入した方は、市役所へ届け出が必要です。新しい保険証・国保の保険証・印鑑を持参ください。届け出をしないと、国保税がかかり続けてしまいます。

24年
3月下旬に

**国民健康保険高齢受給者証(現在1割)
福祉医療費受給者証(1年生)**
を郵送します。

国民健康保険高齢受給者証

現在、1割負担に該当している方の一部負担金の表記は、「2割(平成24年3月31日までは1割)」となっていますが、4月1日から平成25年3月31日までは1割に据え置かれましたので、新しい受給者証を郵送します。

新小学1年生の福祉医療受給者証

4月から新小学1年生になる子どもで、有効期限が3月31日のマル福カードをお持ちの方は、所得基準により福祉医療費受給の該当・非該当が再判定されます。該当する方には新しいカードを、非該当となる方には非該当通知を郵送します。新しいカードが届いた方は受診の際必ず医療機関に提出して下さい。

今春小学校を卒業する子どもの医療費助成は3月末で終了です。ただし、ひとり親家庭の子どもの場合は医療費助成が延長されます。(該当者には連絡します。)

所得制限基準額表

| 父母の扶養親族数の合計 | 父母の所得額の合計 |
|-------------|------------|
| 0人 | 3,972,000円 |
| 1人 | 4,352,000円 |
| 2人 | 4,732,000円 |
| 3人 | 5,112,000円 |
| 4人 | 5,492,000円 |
| 5人 | 5,872,000円 |

※所得・扶養親族数は平成22年分所得で判定します

平成
24年度

**国民健康保険
後期高齢者医療**

人間ドック助成予定について

- 日帰りドック／1万3000円
- 宿泊ドック／2万5000円

23年度までは対象年齢を40歳以上としていましたが、24年度からは35歳以上に引き下げ予定です。(国民健康保険税・後期高齢者医療保険料を滞納していない世帯に限りです)

※次の協力医療機関で受診される場合は、受診前に国保年金課・各支所市民サービス課で助成決定通知書の交付を受けてください。受診時に医療機関に提出すると、助成金額を差し引いた分の支払いとなります。

〔協力医療機関〕

仙北組合総合病院、大曲中通病院(大仙市)、市立角館総合病院(仙北市)、平鹿総合病院(横手市)、中通病院、中通健康クリニック、秋田赤十字病院、秋田県総合保健事業団(秋田市)

※その他の医療機関の場合は、いったん全額自己負担をして市役所窓口で助成金支給の申請をしてください。

- 〔受付開始〕
4月2日(月)
- 〔持参するもの〕
保険証・印鑑(全額自己負担した方は領収書・通帳等・結果通知書)

**限度額適用認定証の
外来受診適用について**

これまで、入院した場合に適用されていた限度額認定証が、外来でも使えるようになります。これは、認定証を提示すれば、医療機関等の窓口での支払いが自己負担限度額までにとどめることができるというものです。

ただし、一医療機関ごとの算定になりますので、複数の医療機関にわたる場合はそれぞれの支払いになります。(総合病院に併設された内科と歯科も別々の算定です。)

※適用時期 平成24年4月1日から(これまで発行された認定証でも使えます)
※限度額を支払い、他に合算対象になる医療費がある場合は、高額療養費の申請をお願いします。合算対象／70歳未満は2万1000円以上、70歳以上はすべて)

注意!! 次の方は国保の保険証を使えません。

**使えなくなった
国保の保険証で受診した場合**

使えなくなった国保の保険証で医療機関を受診した場合、国保の保険証で受診した分の医療費を返還していただきます。返還後、本来の健康保険に請求することができます。

※職場等の保険証が届く前に、医療機関等を受診する時は、受診前に、職場等の健康保険に連絡してください。

- 次のいずれかに該当する方は、たとえ市の国保の保険証を持っていても保険証を使うことができません。医療機関を受診する際は、月の途中でも、必ず新しい保険証(生活保護の方は診療依頼書)を提示してください。
- ① 職場等の健康保険に加入された方
- ◆ 新しい保険証が届くまでの間であっても国保の保険証は使えません。(※診察券で受診する時も健康保険を変更したことを伝えてください)
- ② 転出された方
- ③ 生活保護を受給されている方

**協会けんぽからのお知らせ
協会けんぽ加入のご家族
(被扶養者)の方の健診について**

協会けんぽ(旧社会保険)に加入している40歳以上75歳未満のご家族(被扶養者)の方は、市で実施する集団健診(特定健診)を受診できます。受診の際は協会けんぽ発行の受診券・保険証・健診費用の自己負担分を持参してください。

国保年金課

お問い合わせ ☎0187-63-1111(内線144・145・182)
または各支所市民サービス課 保険担当

ひだまり コーヒーサロン

- ◆日時/毎月第1火曜日の午後1時~3時
- ◆会場/大川西根公民館
- ◆席料/100円
- 【問い合わせ】
「ひだまり」会長 蒔田さん
☎0187-88-8010
健康増進センター
☎0187-62-9301



サロンが開かれる大川西根公民館



ひだまりコーヒーサロンにぜひお立ち寄りください

地域で支え合う ところといのち
語って、笑って、ほっと一息

ひだまり コーヒーサロン

4月3日(火)オープン

市メンタルヘルスサポーターがボランティアグループ「ひだまり」を結成
誰もが気軽に訪れて、ほっと一息つけるリラックススペース
「ひだまりコーヒーサロン」を4月にオープンします



メンタルヘルスサポーター 養成講座

全6回の養成講座では、秋田県・大仙市の自殺の現状や自殺予防活動の取り組みの紹介に始まり、自殺と関わりが深いとされる、うつ病への理解と対応などを学びます。また、相手の話を受容的な態度で受け入れ共感する「傾聴」に力を入れ、傾聴ボランティアの役割やマナーを学ぶほか、悩んでいる方への接し方の演習を行います。平成22年から開催している養成講座。来年度も受講生を募集する予定です。



- 1 グループディスカッションでは受講生同士で意見交換
- 2 傾聴をテーマにした講座では役割分担をして演習

根公民館の1室で、4月3日、「ひだまりコーヒーサロン」をオープンします。

**みんなで語り合おう
ひだまりコーヒーサロン**

サロンが開かれるのは毎月第1火曜日の午後1時から3時まで。心の健康のためのサロンといっても、何か特別なことをするわけではありません。席料の100円を支払った後は、コーヒーやお茶を片手に世間話をするのもよし、人の話に耳を傾けるのもよし、何もせずただのんびりするものよしの空間です。

ただし、サロンには「人の話に耳を傾けること」「話の内容を非難しないこと」「聞いた

話をほかの場所で話さないこと」という3つのルールがあります。「悩みがある方が安心してお話できるような雰囲気づくりをしています」とメンバー。「悩みがある方も、そうでない方も、気軽に立ち寄ってほしい」と話します。

**支え合いの原点は
話すこと、語り合うこと**

近所の縁側で漬け物をつまみ、お茶を飲みながら世間話に花を咲かせる。かつてどこでも見られたという「がっこ茶っこ」

の光景。愚痴をこぼし合いながらも温かい雰囲気包まれていた近所付き合い。そのような地域のつながりが今、見られなくなっています。

支え合いの原点は、話すこと、語り合うこと。「ひだまり」のネーミングには昔の近所付き合い合い、地域のつながりの温かさを取り戻したいというメンバーの思いが込められています。

サロンではひだまりのみならず、あなたがお待ちしています。語って、笑って、ほっと一息つきませんか。

人がつながる場所には日が差し込む
いつのまにか心がほっと温かくなる



**心の健康づくりグループ
「ひだまり」結成**

心の健康づくりや自殺予防活動に関する基礎的な知識と悩みをもった方への接し方を身に付け、ボランティアとして活動するメンタルヘルスサポーター。市では平成22年度から養成講座を開催。これまでに46人のメンタルヘルスサポーターが誕生しています。

22年の秋には、全6回の養成講座を修了した第一期のメンタルヘルスサポーターが集まり、ボランティアグループ「ひだまり」（蒔田栄会長、会員数19人）を結成。地域に根ざした活動を進めていこうと動き出しました。

**誰でも気軽に立ち寄れる
居場所をつくりたい**

ひだまりのメンバーの目指す活動は、悩みをもった方に寄り添い、一緒に悩み、支えていくこと。会長を務める蒔田さんは「私たちメンタルヘルスサポーターに求められているのは、行政では手が届かない範囲の活動。悩んでいる方と顔と顔を合わせて、まずはお話をすることが大切なのではないか

いかと感じていました」と振り返ります。

月1回のメンバー同士での定例会を機会に、どのような形で活動できるか話し合った結果、誰でも気軽に立ち寄れるような居場所づくりをしようという話にまとまりました。

メンバーは昨年、同じく心の健康づくりに取り組むボランティアの方々と交流。藤里町の「心といのちを考える会」の会員を招いての勉強会や美郷町の「てとての会」との交流会を行いました。活動のヒントを得て、心の交流サロンの立ち上げを決意。大曲の大川西

養成講座を通じて出会った仲間同士、力を合わせて活動をしていきたいというみんなの思いが「ひだまり」の結成につながりました。

自分の気持ちを伝える場所がないと、悩みを抱えた方は次第に孤立してしまいます。気持ちを話していただける場所の1つとして、ひだまりコーヒーサロンに来ていただければと思います。私たちも一緒に悩み、支え合っていきたいと思っています。安心してお越しください。

私たちと一緒に活動していただける方も募集中です。まずは一度、サロンにお立ち寄りください。

「ひだまり」会長
蒔田 栄さん

(大仙市メンタルヘルスサポーター)



地域で支え合うところといのち

高齢期の「孤独」と「うつ」に寄り添う

見逃さないで 高齢期のうつ病

気分の落ち込みが長時間続き、何に対しても意欲がなくなり、不安感やいらいら感、あせりなどのほか、不眠や食欲低下などに悩まされる「うつ病」。およそ10人に1人が一生のうち一度は経験するといわれるこの病気ですが、特に高齢期にはうつ病になりやすいと言われています。

高齢期は加齢とともに体の衰えを感じたり、持病などの健康問題を抱えることが多くなります。また、退職を機に社会的な役割を見失ってしまったり、家族や友人など大切な人との死別の体験など、さまざまなものを失ってしまう時期でもあります。このような「喪失体験」の連続から閉じこもりがちになり、孤独感や孤立感から、うつ病になりやすいと考えられています。うつ病は頭痛やめまい、肩こり、動悸などの身体的な症状が現れることもあります。高齢期の場合、

持病の症状と見分けることが難しく、また認知症の初期の症状と似ているため注意が必要です。本人や周りも「年のせいだ」などと安易に考えずに、少しでもうつ病の症状に似ていると感じたら、かかりつけ医などに相談することが大切です。

うつ病は脳内の神経の機能に異変が生じる精神疾患の一つです。うつ病になると、冷静に物事を考えられなくなり、最悪の場合には、自ら命を絶ってしまうことにつながります。

自殺の引き金にもなるうつ病 大切な早めの「気付き」

秋田県の昨年中の自殺者343人(秋田県警発表・暫定数)を年代別に見ると、今まで多かった40歳代・50歳代の中年層が減少し、60歳代、70歳代の高齢者層が占める割合が大きくなっていきます。

高齢の方の自殺を未然に防ぐためには、うつ病の早期発見が欠かせません。本人だけでは自覚でき

相談できる場所があります

健康増進センターでは「こころの健康相談」電話窓口のほか、臨床心理療法士がこころの健康に関する相談やカウンセリングを行う「ほっとスペース」を開設しています。

秋田県医師会では「うつ病・自殺予防協力医」と「うつ病治療登録医」(精神科医)の連携により、心の悩みを抱えた方の診察を行っています。いきなり精神科医を受診しにくいという方もまずは、かかりつけ医などの地域の医療機関に相談ください。

| 健康増進センター「こころの健康相談」 | |
|--------------------|----------------|
| 健康増進センター | ☎ 0187-62-9301 |
| 健康増進センター中央 | ☎ 0187-62-1015 |
| 健康増進センター西部 | ☎ 0187-75-0476 |
| 健康増進センター東部 | ☎ 0187-56-7211 |

| ほっとスペース | |
|---------|----------------|
| 予約専用電話 | ☎ 0187-62-9304 |

| うつ病・自殺予防協力医 | |
|--------------|----------------|
| 荒井医院 | ☎ 0187-63-2670 |
| 佐藤レディースクリニック | ☎ 0187-86-0311 |
| 田口医院 | ☎ 0187-63-1380 |
| 石井内科胃腸科医院 | ☎ 0187-56-7300 |
| 滑川医院 | ☎ 0187-56-3121 |
| 黒澤医院 | ☎ 0187-75-0368 |
| 佐藤内科クリニック | ☎ 018-895-2730 |
| 太田町国保診療所 | ☎ 0187-88-2233 |

| うつ病治療登録医 | |
|----------------------|----------------|
| ケイメンタルクリニック | ☎ 0187-66-3020 |
| 県立リハビリテーション・精神医療センター | ☎ 018-892-3751 |
| 協和病院 | ☎ 018-892-2881 |

ないこともあります。家族や近所、地域での「見守り」と「気付き」、そして相談窓口や医療機関での受診を勧める「つなぎ」が大切です。

高齢自殺者の9割以上が 家族と同居

国立精神・神経センター精神保健研究所がまとめた報告書によると、全国の65歳以上の自殺者のうち一人暮らしだったケースは5割以下。9割以上の方が家族と同居していたという事実があります。報告では、自ら命を絶ってしまった高齢の方が生前、家族に「長く生きすぎた」「迷惑をかけたくない」と話していたこと。また「心身の衰えを自覚し、同居する家族に

すべての世代が、寄り添い支え合う地域に

看護や介護の負担をかけることへの遠慮が生じていた」という指摘がされており、この精神的な負担が自殺の原因の一つに挙げられています。

家族と一緒にいるからこそ、自分の存在を否定してしまうこと、孤独を感じることもあるのです。

大切なのは理解を深め 世代間で寄り添うこと

子どもにすばらしい創造性があるように、高齢の方には教えるべき知識があります。子どもがしばしば熱を出すように、高齢の

方は次第に体の節々が衰えてきます。働き盛りの年代が仕事の愚痴をこぼすように、高齢の方は自身の衰えを口にします。

誰もが笑顔で毎日を暮らせる地域社会をつくるためには、あらゆる年代の人たちが、お互いの強さと弱さを理解し、補い合うことが大切です。誰もが安心して悩むことができたら、私たちの地域はより住み心地の良いものになります。

高齢期の孤独とうつを理解し寄り添うこと、家族、近所、地域でつながることを今一度、立ち止まり考えなければなりません。

| うつ病チェックリスト | 次の症状が毎日のようにあり、また2週間以上続く場合は、医師への早めの相談をお勧めします |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ほとんど1日中ずっと気分が沈んでいる | <input type="checkbox"/> 疲れを感じたり、気が湧かない。 |
| <input type="checkbox"/> ほとんど一日中何に対しても興味が湧かず楽しめない | <input type="checkbox"/> 自分に価値がない、または申し訳ないと感じる。 |
| <input type="checkbox"/> 食欲が低下、または体重の増減が激しい | <input type="checkbox"/> 仕事や家事に集中したり、決断することができない。 |
| <input type="checkbox"/> 寝付けない、または夜中や早朝に目が覚める | <input type="checkbox"/> この世から消えてしまいたいと思うことがある。 |
| <input type="checkbox"/> 動作や話し方が遅い、またはいらいらしたり落ち着きがない | 参考/「精神障害の分類と診断の手引き」(第4版) |

新たな扉を開けるつもりで相談にきてほしい



ほっとスペース・カウンセラー
佐藤 俊子さん
(臨床心理療法士)

大曲保健センターの「ほっとスペース」では、カウンセリングの始めに、どんな気持ちなのか思いをつままに話をしていただいています。気分が落ち着かない時は、なにか話せばよいか分からなくなることがありますが、言葉にすることで自分の本当の気持ちに気付くことがあります。その中で、自分はどうなりたいたのかハッキリしてきます。それから、問題解決に向けてできるだけ簡単なことから始めて行く、そのお手伝いをしています。うつ気分の際は、色んな物事が積み重なって混乱してしまい、1つの方向にしか考えられなくなってしまうます。話をしていくうちに、気持ちに整理されて余裕が出てくれば、他の考え方もできるようになります。カウンセリングと聞くと、気が引けたり、悩みを話すことをためらう方もいるかもしれませんが、ぜひ新たな扉を開けるつもりで相談にきてほしいと思います。

社会とつながることを忘れてはいけません



大仙市老人クラブ連合会会長
千葉 嗣助さん

現在、大仙市の高齢化率は31.6%。若い人がだんだんいなくなる中、私たち高齢者同士でも支え合い、助け合わなければなりません。老人クラブには、「健康」「友愛」「奉仕」という3つの理念があり、老人クラブに参加している世帯を訪問して、安否確認や声掛けなどをする友愛訪問という活動が全国的に行われています。私が会長を務める上払田老人クラブでも友愛訪問を行っています。頻繁に訪問することはできませんが、それぞれの誕生日を機会にして、年一回は必ず、メッセージを書いた手紙を持って会いに行くようにしています。また訪問する時には、市の健康診断の日程や、地域の行事や会合のお知らせなどのチラシを一緒に持っていき、たまに顔を出してくださるねとお話しています。近所での支え合いが大切なのはもちろん、より広い範囲で、社会とつながることを忘れてはいけません。



健康はバランスよい食事から
ヘルスメイトさんのレシピ

野菜たっぷり食べよう
レンコンとゼンマイのクルミ和え
1人分のエネルギー 150kcal、塩分 0.8g

- 材料(4人分)
レンコン 400g
だし汁 大さじ3
砂糖 小さじ1
塩 小さじ1/3
酢 大さじ1
ゼンマイ(水煮) 100g
ニンジン 50g
だし汁 1/2カップ
しょう油 小さじ1
ホウレンソウ 50g
菊 50g
(合え衣)
クルミ(殻をむいたもの) 50g
砂糖 大さじ1
みそ 大さじ1
みりん 大さじ1

- 作り方
① レンコンは3mm厚さの半月切りにし、酢を少々加えた熱湯でサッとゆで水にとり、水気を切る。小鍋にAを入れて煮立て、レンコンを歯ざわりが残るくらい煮てバットに広げて冷ます。
② ゼンマイは4等分の長さに切り、熱湯でサッとゆでて水気を切る。ニンジンは4等分の長さの短冊切りにする。鍋にBとゼンマイ、ニンジンを入れ、中火で4~5分煮る。
③ ホウレンソウはゆでて2等分に切り、水気を絞る。
④ 菊は酢を少々入れた熱湯でサッとゆでて冷ましておく。
⑤ クルミをすり鉢ですりつぶし、Cを加えてよくすり混ぜて合え衣を作る。
⑥ ①②の汁気を切り、⑤に加えて和える。

青のりと絶妙の塩加減
かんたんジャガピザ風
8等分した場合1切れのエネルギー 92kcal、塩分 0.8g

- 材料
ジャガイモ 400~450g
とろけるチーズ 100g
片栗粉 大さじ3
青のり 大さじ1/2
塩 小さじ1/2
油 大さじ2

- 作り方
① ジャガイモはできるだけ細い千切りにして、1時間くらい水にさらす。水気を切り、ペーパータオルでよく拭き取った後、ビニール袋に入れ、片栗粉を入れてよく混ぜ合わせる。
② フライパンに油を入れ①を入れ、強く押しながら中火で焼く。
③ ふたをして10分くらい焼いたら、裏返して10分焼く。(途中5分くらい焼いたらチーズをのせる)
④ 焼き上がったら、青のりと塩をふりかける。



高橋友子さん (食生活改善推進協議会太田支部)

おおきなせなか
お便り広場

2月号・2月号お知らせ版へのお便り

今回寄せられたのは 32通
内訳/ 感想 32

いつも必ず広報に目をとおしていただきます。3人の子どもの母親なので、健康通信は大変役立ちます。末っ子が10カ月なので、まだまだ予防接種が必要で。うっかりな母でも予防接種や健診についての知らせがあると「そうだった」と思い出せることができます。

特集「我思う」を読み、被災地の復興を願う熱い思いが伝わり涙があふれてきました。秋田県、そして大仙市ががれきの受け入れを決めたことをきっかけに広域処理が広がることを願っています。一市民として、家庭ごみの排出量を減らし、がれきの焼却処理が進むよう支援したいです。

イワナの薫製は初めて知りました。ぜひ食べてみたいと思います。(大曲地域 77歳男性)

担 当者コラムを楽しみにしています。担当者の(い)さんが「ばつちや」を喜ばせてあげられることを応援しています。(大曲地域 66歳女性)

昨 年6月に福島県の相馬市から避難し、大仙市内に住んでいます。市からは大変良くしていただき、ありがとうございます。インターネットで広報を見ています。情報がきめ細やかに載っていると感じました。冬のイベントの多さにも驚きました。4月には娘が小学校に入学します。これからも広報の情報を参考にしたいと思います。(仙北地域 53歳男性)

大 仙市は、被災地支援のために岩手県のがれきを受け入れるという記事がありました。難しい決断だったと思いますが、被災された方々の立場で考えるなら正しい判断だと思います。細心の注意を払い安全性を確保しながら進めていくということですが、国が定める安全基準は本当に確かなものなのか疑問が残ります。後になって市民が被ばくしてしまったということにならないよう願います。市民が安心できるように、正確な情報発信をお願いします。(大曲地域 53歳女性)

日 本でまた大地震が起こる可能性がありますとの報道がありました。一日一日を大事に生きて行くべきだと思えます。小さなことでも感謝の気持ちを忘れずにいたいですね。(協和地域 53歳女性)

大 仙市が県内でいち早くがれきの受け入れを表明したことをうれしく思います。被災地に住む友人も喜んでいました。復興の妨げになっていないがれきの処理は、一日でも早く進めてもらいたいです。(大曲地域 49歳女性)

私 は食いしん坊なのでヘルスメイトさんのレシピが特に楽しみです。時々、レシピを見て挑戦しています。今回のレシピもこれから試してみます。(大曲地域 60歳女性)

地 球温暖化防止に取り組み、それを地域と連携して行っている大曲南中学校。未来を見据えたい取り組みだと思えました。(大曲地域 60歳女性)

が れきについての特集を読んで大仙市ががれきの受け入れを進めていることを知り、私も応援したくなりました。私たちにできることはわずかなこととは思いますが、一日も早く被災地の復興が進むようお祈りしています。(神岡地域 49歳女性)

広 報紙の情報をいつも参考にしていきます。昨年、秋田市から大仙市に引越してきたのですが、雪の量の違いに驚いています。それ以上に除雪の丁寧さにびっくりしました。現在、妊娠後期で夜中の眠りが浅いのですが、気付くと除雪車の音がよく聞こえてきます。夜中中頑張っていただいている方々に感謝したいです。いつもありがとうございます。(大曲地域 32歳女性)

栗 林市長ががれきの受け入れ表明をしたので、被災地のがれきの現状や処理工程などを注目して読みました。安全性の遵守や住民の理解は不可欠ですが、被災地の真の復興を願う市の英断を評価したいと思えます。(西仙北地域 54歳男性)

が れきの受け入れを決めたことは全国に自慢できることだと思います。でも反対の方もいると思います。そんな中、お知らせ版に掲載されていた「災害廃棄物受け入れに関するQ&A」は、とても良い内容だと思えました。臨時職員など働き手の募集記事が多く掲載されていましたね。就職難の時代に助かる情報だと思えました。(大曲地域 46歳女性)

い つも感心するのは写真の良さです。最後のページの担当者コラムも楽しみにしています。(南外地域 64歳女性)

が れき特集の姫神山から見る初日の出の写真のページに、私は震えるほど感動しました。初日の出は世界平和の輝きです。(中仙地域 80歳女性)

岩 手県からのがれきの受け入れが動き出すことに隣県との絆を感じます。今後も食料生産地としてあり続けられるよう、放射線量検査を行うなど市民一人一人への細やかな配慮を願っています。(大曲地域 69歳男性)

市 の動きは、一市民として最も関心があるコーナーです。私たち市民も協力して市の動きを魅力あるものにしていきたいです。健康の達人のコーナーが大変勉強になりました。また、情報交差点のページで「市民フラワーデザイン講座」を見つけたのが収穫です。(大曲地域 77歳女性)



お便りお待ちしております
「お便り広場」はみなさんのページです。市政に対する質問・意見など、みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。あて先はこちら
〒014-8601 (住所不要)
大仙市企画部総合政策課
手紙・ハガキ、FAX(0187-63-1119)またはEメール(kouhou@city.daisen.akita.jp)で送ってください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」と記入ください。

健康通信

問い合わせは各健康増進センターへ

健康増進センター
 中央(大曲保健センター内/大曲地域) ☎ 0187-62-9301
 西部(西仙北庁舎内/神岡・西仙北・協和・南外地域) ☎ 0187-62-1015
 東部(中仙庁舎内/中仙・仙北・太田地域) ☎ 0187-75-0476
 ☎ 0187-56-7211

積極的な予防接種をお願いします 3月1日から7日までは「子ども予防接種週間」

3月1日(木)から7日(水)までは「子ども予防接種週間」です。

医療機関の協力により、通常では行っていない日でも予防接種を受けることができます。

母子手帳の予防接種の記録欄を確認の上、この機会に積極的な接種をお願いします。

(麻しん風しん予防接種の無料接種期限は3月31日です。今年度の対象の方は早めの接種をお願いします)

◆対象となる予防接種／

BCG、三種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん予防の各ワクチン

◆申し込み方法／協力医療機関

(右表参照)に事前に電話で予約してください。

※吉方内科医院ではBCG予防接種、神岡診療所ではBCG・日本脳炎の予防接種を行っています。

| 協力医療機関 | 電話番号 | 3月1日(木) | 2日(金) | 3日(土) | 4日(日) | 5日(月) | 6日(火) | 7日(水) |
|-----------|--------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 池田医院 | 0187-63-3338 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 石井内科胃腸科医院 | 0187-56-7300 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 生和堂医院 | 0187-87-3070 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | 午前 |
| 伊藤医院 | 0187-74-2211 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | ○ |
| 小山田医院 | 0187-63-1133 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | ○ |
| 木村内科医院 | 0187-63-2070 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 協和病院 | 018-892-2881 | 午前 | 午前 | × | × | 午前 | 午前 | 午前 |
| 後藤内科医院 | 0187-62-1113 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | 午前 |
| 佐藤内科クリニック | 018-895-2730 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | × |
| 豊島医院 | 018-892-2211 | 午前 | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | ○ |
| 仲村内科胃腸科医院 | 0187-63-2225 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | ○ |
| 滑川医院 | 0187-56-3121 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | 午前 |
| 藤本医院 | 0187-75-2221 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | × |
| 柳田医院 | 0187-69-2101 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 吉方内科医院 ※ | 0187-86-0800 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 吉村クリニック | 0187-86-0566 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 午前 |
| 神岡診療所 ※ | 0187-72-3001 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | 午前 |
| 伊藤内科医院 | 0187-65-3200 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | 午前 |
| 太田国保診療所 | 0187-88-2233 | ○ | ○ | 午前 | × | ○ | ○ | 午前 |

胃がんは、10年ほど前までは男女とも死亡率が1位のがんで、がんの代名詞といえる疾患でした。現在は、医療の進歩と検診の普及、食生活の変化などで年々死亡率が減少し、死亡率は2位となっています。(女性では3位)

しかし、胃がんにかかる方の割合(胃がん罹患率)をほかのがんの場合と比較すると、年々減少傾向にはあるとはいえ男性で1位となっています。(女性では3位)

がんには「早期がん」と「進行がん」があります。胃がんの早期がんの場合、がんの診断を受けた5年後に生きている方の割合(5年生存率)は90%以上ですが、進行がんの場合は5〜7割で、生存率がガクンと下がります。このことから、いかに早くがんを見つけることが重要であるか分かります。

胃がんには、親がなったからといって、子も同じく胃がんになるような遺伝性はありません。がんにならないようにするにはどうしたらよいかを考え、またいかに早い段階でがんを発見するかが大切なのです。

例えば、喫煙者がタバコをやめると、胃がん、食道がん、直腸がん、肺がんなどの発症を全体で約25%抑えられるというデータがあります。また、アルコールはビールで大瓶1本、焼酎で1合まで、塩分

は1日10gまでに控える、野菜を400g摂る、熱いものを食べない—など、食生活の改善が予防につながると思われます。

がんの原因の一つとして、最近よく耳にするようになったのが「ヘリコバクターピロリ菌」です。これは、60歳以上の方が高い割合で感染している細菌です。ピロリ菌を除去することで、一説では、がんになる方の割合が除菌から10年経過した時点で10%低下すると言われています。

このほか、胃の萎縮(胃粘膜の老化の度合いを判定し、胃がん発症の危険性を推測できる「ペプシノゲンテスト」という血液検査も



大曲仙北医師会

亀谷外科医院
 亀谷 武彦 院長

美郷町野中文字沢田3
 ☎ 0187-84-1288

早期の胃がんには症状がありませんが、胃の痛みや胃もたれなどを感じている方のうち5割が胃がんにかかっていると言われています。また胃がんは大腸がんと比べて進行が早く、年1回の胃がん検診を受けることはとても大切です。

市の検診で行うバリウムによる胃の検査(胃透視)や、病院のドックで行う内視鏡検査は早期発見の手段として有効です。(最近普及しているPET検査については、ほかのがんは5%単位で発見できますが、残念ながら胃がん検診では適応外となっています)

しょっぱいもの好き、お酒好きなど秋田県人は進んで胃がん検診を受けましょう。

早期発見のため、年に1回必ず受けよう
胃がん検診について
 Talk about
 “Stomach Cancer Screening”



Medical Chart no.57

Letter from Omagari-Semboke Medical Association
 Master of HEALTHY

健康の達人

大曲仙北医師会からの便り
 大曲仙北医師会ホームページ
 パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>
 携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/>

「大腸がん検診の研究」にご協力いただける方へ

「大腸がん検診の研究」への参加方法と 検診当日の流れをご確認ください

(1) 検診日を決める

健診(検診)申し込み調べる用紙にある大腸がん検診の欄に、「1」(市の検診を受ける)と記入した方には、研究事業の日程が書かれた通知と便潜血検査の容器が届きます。通知をご覧いただき、検診を受ける日を決めてください。

(2) 会場で説明を受ける

検診当日は、会場で一人ずつ大腸がん検診の研究に関する説明が受けられます。

(3) 検診方法を決定

参加された方は、①便潜血のみ、②便潜血検査に大腸内視鏡検査を一度だけ加える検診—のどちらかのグループに分かれて検診を受けます。検診方法は無作為に決定します。検診方法が書かれた用紙が入った封筒が配布されますので、自分がどちらのグループか確認し、検診を受けてください。(大腸内視鏡検査は後日、仙北市立角館総合病院で行います)

※研究に参加しない場合は、従来どおりの便潜血検査を受けることができます。



※日程は変更になる場合があります。

登場人物紹介

大仙花子さん (75歳)

認知症の症状が進み「要介護1」の認定を受けた花子さん。ホームヘルパーに家事の手伝いをしてもらうことになりました。

大仙太郎さん (80歳)

足腰に不安があり「要支援2」の認定を受けた太郎さん。歩行機能向上のためのデイサービスに通っています。

安心生活のための各種サービス、
交流の場を活用ください

- ▶ 地域サロン (社会福祉協議会)
高齢の方が参加し、会食や趣味の活動をする交流の場です。
- ▶ ふれあい安心電話 (社会福祉協議会)
専用の端末を自宅の電話に取り付けることで、生活に関する相談や具合が悪くなった際の緊急連絡ができます。
- ▶ 認知症の人の家族のつどい (地域包括支援センター)
認知症の家族を介護している方同士での情報交換会です。

高齢者支援の「総合相談窓口」各地域包括支援センターを利用ください

| | | |
|---|---|--|
| 中央 (大曲庁舎/大曲・四ツ屋・花館地区) ☎ 0187-63-1111 内線 169 | 西部 (西仙北庁舎/神岡・西仙北・南外) ☎ 0187-87-3970 | 南部 (社会福祉協議会本所/大曲・内小友・西根・藤木・角間川地区) ☎ 0187-88-8030 |
| 東部 (中仙庁舎/中仙・仙北・太田) ☎ 0187-56-7125 | 協和 (社会福祉協議会協和支所/協和) | |

介護保険事務所からの 大仙市の介護保険の情報は「OS介護ネット」から
お知らせ 【ホームページ】 OS介護ネット www.oskaigonet.or.jp

介護保険は、40歳以上の方が加入者(被保険者)となつて保険料を納め、介護が必要となったときに費用の一部を支払うことでサービスを利用できる仕組みです。市の介護保険に関する情報は、大曲仙北広域市町村圏組合のホームページ「OS介護ネット」で公開しています。介護保険に関する身近な情報から制度に関することまでご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。インターネットを利用できない場合は、「介護保険の分かりやすい利用ガイド」や「広域圏内で利用できる介護保険サービス事業所の情報」などの冊子を介護保険事務所、社会福祉課、各支所市民サービス課に用意していますのでご利用ください。

【問い合わせ・介護保険に関する申請】

介護保険事務所 ☎0187-86-3910
社会福祉課高齢者支援班 ☎0187-63-1111 内線167
各支所市民サービス課

OS介護ネットでは
このような情報をご覧いただけます

- ▶ 介護保険に関するニュース
- ▶ 市で利用できる介護サービス事業所について
- ▶ 介護保険サービスの利用方法について
- ▶ 「介護保険料がどのように使われているのか？」などのQ&A
- ▶ 各種申請書の様式のダウンロード
- ▶ 要介護認定者数やサービス利用者数などの統計

身近なことから制度に関する
ことまで幅広く情報を掲載。
OS介護ネットを活用ください



シリーズ最終回 高齢の方のための居場所づくり
「花子さんと太郎さん、地域の方々と交流する」

ホームヘルパーに手伝ってもらいながら、炊事や掃除を頑張る花子さん、デイサービスの利用を始めて足腰の具合も良くなり、買い物に出掛けられるようになった太郎さん。二人は力を合わせて暮らしています。

ある日、二人の様子を気に掛ける地域の民生委員が夫妻の家を訪問しました。「お体の具合はいかがですか、不安なことはないですか。困りごとがあったらいつでも相談してくださいね」と声を掛ける民生委員に、太郎さんはある悩みを打ち明けました。「実は、地域の行事に二人で参加したいと思っているけれど、みなさんに迷惑を掛けたくらいです」。

太郎さんの悩みを聞いた民生委員は地域包括支援センターに相談。地域の見守りネットワークの関係者との話し合いの結果、高齢の方が気軽に集まり、会食や趣味の活動をする「地域サロン」を紹介することにしました。

1年後…。地域サロンの集会所では、カラオケを楽しむ花子さんと将棋板に向かう太郎さんの姿がありました。二人のまわりには顔なじみの地域のみなさんがいます。

「不安なこともいろいろあるけれど、まだまだ元気。今度はどこに出掛けようか」と話す二人。地域の方々に支えられながら、毎日を楽しんで暮らしています。

太田図書館のおすすめ

「あの日」のこと

高橋邦典/写真(ポプラ社)
(大曲・協和・太田図書館所蔵あり)

東日本大震災から間もなく1年。地震、津波、原発事故と、かつて経験したことのない大災害に、被災された方々は言葉にできないつらい日々を送ってきました。

この写真集は、これまで出されてきた報道写真集とは違い、一瞬にして現実とは思えない世界に投げ出されてしまった人々の日常をインタビューを交えて写し出しています。大きな困難の中でも、日常を大切に生きようと決意している人々の静かな勇気の記録です。



3 新書 ここで紹介する以外にもたくさんの本が入っています。希望する本がなかった場合は、図書館職員へ声を掛けてください。市内の各図書館のほか、県立図書館からも取り寄せます。

- 幼児・児童向け図書**
- ピーターサンドさんのねこ / ルイス・スロボドキン
 - いるのいないの / 町田尚子
 - 給食室の日曜日 / 村上しほ
 - トミーとテリリーとタブスおばあさん / ヒュー・ロフティング
 - おめでたごぶたその1 / アリソン・アトリー
 - ゆきのひ / いもとようこ
- 小説・一般向け図書**
- きんりの雲 / 石田千
 - フラミンゴの村 / 澤西祐典
 - 空中都市 / 小手鞠るい
 - 道化師の蝶 / 円城塔
 - 共喰い / 田中慎弥
 - プリティが多すぎる / 大崎梢
 - 羅針 / 檜周平
 - 無双の花 / 葉室麟
 - 歪 / 堂場瞬一
 - 眺望絶佳 / 中京京子
 - 決起! / 三崎重記
 - 素人がいっぱい / 新野剛志
 - 再会の街 / 藤田宜永

ブックスタートボランティアを募集

赤ちゃんへの絵本読み聞かせを行うブックスタートボランティアを募集しています。興味のある方は、大曲図書館に連絡ください。



■ 各図書館イベント / 【おはなし会】

仙北 3月10日(土) 午前10時30分～
協和 3月17日(土) 午前10時～
神岡 3月17日(土) 午前11時～
西仙北 3月24日(土) 午前10時～11時

【どんぐり文庫 おはなし会】

太田(敬愛館) 3月24日(土) 午前9時30分～11時

■ 大曲図書館企画展/さんかく展～ともに輝く男女共同参画のまち大仙市～
期間/3月2日(金)から30日(金)まで

時間/午前9時～午後7時

■ 各図書館休館日 / 【3月】▼1日=大曲、神岡、南外、太田▼5日=中仙、仙北▼7日=西仙北▼26日=協和【4月】▼2日=大曲、神岡、中仙、南外、仙北、太田▼4日=西仙北▼23日=協和

各図書館問い合わせ

| | |
|----------------------|---------------------|
| 大曲図書館 ☎0187-62-1012 | 南外図書館 ☎0187-74-2130 |
| 神岡図書館 ☎0187-72-2501 | 仙北図書館 ☎0187-69-3334 |
| 西仙北図書館 ☎0187-75-0099 | 太田図書館 ☎0187-88-1119 |
| 協和図書館 ☎018-892-3830 | 中仙図書館 ☎0187-56-7200 |

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 5日・月 | 第1回市議会定例会(第2日目) |
| 6日・火 | 第1回市議会定例会(第3日目) |
| 7日・水 | 第1回市議会定例会(第4日目) 大仙市特別賞贈呈式 |
| 9日・金 | 大仙市民賞贈呈式 大曲高等学校校舎改築期成同盟会総会 |
| 11日・日 | 第23回中仙地域文化財防火訓練 |
| 12日・月 | 花館のサケまつり |
| 14日・水 | 大曲仙北広域消防功労者表彰式 |
| 15日・木 | 第1回市議会定例会(第5日目) |
| 16日・金 | 東北復興観光プロジェクト in 秋田 (秋田市) |
| 17日・土 | 柏の郷創立10周年記念式典 |
| 19日・月 | 花館財産区議会定例会 |
| 20日・火 | 大曲地区コミュニティ会議設立総会 |
| 21日・水 | 大仙美郷介護福祉組合議会定例会 大曲商工会議所通常議員総会 |
| 22日・木 | 合同入社式 |
| 23日・金 | 雄物川流域林業活性化協議会 |
| 24日・土 | 新作花火コレクション2012 |
| 27日・火 | 大仙市地域見守り協力協定調印式 秋田県総合公社理事会 (秋田市) |

市長交際費 (1月1日～31日)

| 摘要 | 件数 | 金額 |
|----|----|----------|
| 慶祝 | 43 | 315,997円 |
| 協賛 | 3 | 12,145円 |
| 弔慰 | 7 | 150,000円 |
| 合計 | 53 | 478,142円 |

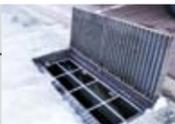
※慶祝=市長等が出席する行事の会費やお祝いなど
※協賛=各種事業協賛金や各種大会市長賞および副賞など
※弔慰=行政委員会の委員等、市政に深く関わりのある方や旧市町村の功労(績)者に対する香典など



「川を渡るぼんでん」の会場で福島県の子もたちと談笑する栗林市長

流雪溝のふたの閉め忘れに注意

転落事故などを防ぐため、除雪作業の後は、必ず流雪溝のふたを閉めましょう。

**Events イベント****がんばろう東北
第13回みちのく歌謡祭**

東北各県から参加する170人の歌い手が、自慢のどと、みちのくの歌心を披露します。県内では初の開催となる歌謡祭にぜひお越しください。

- ◆日時／4月8日(日)午前9時～
- ◆会場／協和市民センター(和ピア)
- ◆チケット料金／2,000円(全席自由)
- 【問い合わせ・チケット販売】
- みちのく歌謡文化連盟秋田県事務局(カラオケ喫茶ポラリス内)
☎018-892-3980
- 協和市民センター(和ピア)
☎018-892-3820

**親子で一緒に野球しよう
春一番 全員集合！マラソン野球大会**

少年野球発祥の地、神岡。500歳野球が毎年開催されている神岡野球場を舞台に、親子3世代の参加者が2チームに分かれ、43イニングを戦い抜く「マラソン野球大会」を開催します。

体力の続く限り、野球を愛するみんなで一つの白球を追いかけてみませんか。

試合当日は県南のB級ご当地グルメが大集合。球場付近で出店します。

- ◆日時／4月22日(日)
午前8時試合開始
(午前6時30分受け付け開始)
- ◆会場／神岡野球場
- ◆定員／
- 【小学生】50人
- 【中学生】40人
- 【高校生以上】30人
- 【500歳野球加盟会員】30人

**県立農業科学館
ボランティアを募集**

各種教室・企画展示の補助や植栽物の管理、館内の説明などを行うボランティアを募集します。

- ◆応募資格／平成24年4月1日現在20歳以上で、年間をとおして月1日(または半日を2回)以上活動できる方
- ◆活動時間／午前9時30分～午後3時30分(活動日時は自由に設定可)
- ◆定員／45人程度
- ◆申し込み方法／農業科学館に用意してある申込用紙に記入・押印の上、提出
- ◆申込期間／3月3日(土)から9日(金)まで
- 【問い合わせ・申し込み】
県立農業科学館 ☎0187-68-2300

- ◆参加費／500円(保険料込み)
- ◆申し込み方法／大曲青年会議所に用意してある申込書に必要な事項を記入の上、持参するかファクスまたは郵送してください。(電話で連絡いただいた方には申込書を送付します)
- ◆申込期限／3月23日(金)
- 【問い合わせ・申し込み】
社団法人大曲青年会議所
(土・日、祝日を除く午後1～4時)
☎0187-62-0883 (FAX兼)
〒014-0027 大曲通町5-2

**介護職員基礎研修科
求職者支援訓練受講者募集**

介護の基礎を学び、資格取得と介護分野への就職を目指しませんか。一定の要件を満たす方には、訓練期間中、月額100,000円と交通費(上限あり)が支給されます。

- ◆受講期間／4月23日(月)から10月22日(月)まで(土・日、祝日を除く)
- ◆時間／午前9時10分～午後3時50分
- ◆会場／大曲地域職業訓練センター
- ◆受講料／無料(別途、テキスト代18,860円、実習先への交通費、健康診断・インフルエンザ予防接種にかかる費用)
- ◆定員／30人
- ◆申し込み方法／最寄りのハローワークで申し込み
- ◆申込期限／3月28日(水)
- 【問い合わせ】
スマイルケアスクール大仙校
実施機関・株式会社丸新製作所
☎0185-54-5670

Invitation 募集**この国は私たちが守ります
自衛官募集**

一般幹部候補生と予備自衛官を募集します。詳細は問い合わせください。

- 【一般幹部候補生】
受験資格／平成25年4月1日現在20歳以上26歳未満で大学を卒業しているか卒業見込みの方
申込期限／4月27日(金)
試験期日／5月12日(土)
- 【予備自衛官補(一般公募)】
受験資格／平成24年4月1日現在18歳以上34歳未満で自衛官の経験がない方
申込期限／4月4日(水)
試験期日／4月13日(金)から16日(月)までのうち、いずれか1日
- 【問い合わせ】
自衛隊秋田地方協力本部
大仙地域事務所 ☎0187-63-1313

**請求期限は3月31日(土)
シベリア強制抑留者特別給付金**

- ◆対象／旧ソ連邦またはモンゴル国での戦後強制抑留者で、平成22年6月16日現在で日本国籍があり、ご存命の方(同日以降に亡くなられた場合は相続人の方)
- ◆請求期限／3月31日(土)
- ◆受付時間／午前9時～午後6時(土・日、祝日を除く。ただし3月31日は受け付けを行います)
- 【問い合わせ・請求】
平和記念事業特別基金特別給付金認定担当 ☎0570-059-204

Course 講習**地元企業を見学してみませんか
おらほの企業を訪問・見学しよう!**

- 地域が誇るものづくりの現場を見学してみませんか。
- ◆対象／小学生(3年生以下は保護者の付き添いが必要)※一般の方の参加も可
- ◆日時／3月23日(金)
午前9時10分～11時30分
- ◆見学企業／(株)秋田今野商店、東北醤油(株)
- ◆参加費／無料
- 【問い合わせ・申し込み】
仙北地域振興局地域企画課
☎0187-63-5226

**あきた環境優良事業所
認定制度研修会**

- 東日本大震災以降、さらなる取り組みが求められている省エネ。省エネや省資源に取り組む事業所を支援する研修会を開催します。
- ◆日時／3月9日(金)
午後2時～4時
- ◆会場／平鹿地域振興局
- ◆参加費／無料
- ◆講師／工藤兼勝さん(環境カウンセラー、省エネルギー普及指導員)
- 【問い合わせ・申し込み】
NPO法人環境あきた県民フォーラム
☎018-839-8309

**新規学卒者の就職活動を支援
学卒集中支援窓口**

- ハローワーク大曲では、今春に高校や大学(短大、高専、専修学校を含む)を卒業する方の就職相談に応じえています。
- 求人情報の提供のほか、応募書類の作成指導や面接対策などの支援をします。ぜひ活用ください。
- 【問い合わせ・支援窓口】
ハローワーク大曲 ☎0187-63-0335

**東日本大震災から1年
日ごろの備えを再確認**

- 【日ごろの備え】
- 安全な避難場所、避難経路の確認
- 災害用伝言板サービスの活用など家族の連絡手段の確認
- 家具の転倒、落下防止など自宅内・自宅周辺の点検
- 懐中電灯、携帯ラジオ、水筒、救急用具、貴重品、非常食品などの確認と用意
- 【大きな揺れを感じたら津波に注意】
津波情報をテレビや携帯ラジオで確認し、津波警報が発表されたら、すぐに高台に避難しましょう。(近くに高台がない場合は丈夫で高い建物のより高い階に避難しましょう)
- 【問い合わせ】
大仙警察署 ☎0187-63-3355

**つながるいのち・つなげるいのち
大森山動物園・小松園長講演会**

- 大自然の中で、生き残るための工夫と挑戦を続けてきた動物たちの姿を見ながら、いのちのつながりについて考えてみませんか。
- ◆対象／小学3～6年生とその保護者
- ◆日時／3月20日(火)
午後1時30分開演(午後1時開場)
- ◆会場／大曲市民会館・小ホール
- ◆入場料／【小学生】200円
- 【保護者】300円
- ◆講師／小松守さん(大森山動物園長)
- 【問い合わせ・申し込み】
ペアール大仙 ☎0187-63-8600

**お知らせ
Information****文化財保護と防火を呼び掛け
第23回中仙地域文化財防火訓練**

- 県内唯一の国宝「線刻千手観音等鏡像」がまつられている水神社で文化財を火災から守る訓練を行い、文化財保護と防火を呼び掛けます。
- ◆日時／3月11日(日)午前10時～
- ◆会場／水神社境内(豊川観音堂)
- 【問い合わせ】
中仙市民会館(ドンパル)
☎0187-56-7200

**健康長寿は笑いから
笑学校 in 仙北組合総合病院**

- 「アカデミック漫談」「秋田弁シャンソン」「とんちんかん漫談」「昔話」「クリニック漫談」など、楽しい授業が盛りだくさん。
- 笑いながら健康長寿の秘訣を学びませんか。
- ◆日時／3月25日(日)午後1時～3時
- ◆会場／仙北組合総合病院2階
・内科外来待合ホール
- ◆入場料／無料
- 【問い合わせ】
日本笑い学会秋田県幹事
人星亭喜楽駄朗さん
☎090-5232-8009

**中仙市民会館(ドンパル)
3月の展示ホール作品展**

- 【石水かな書道展】
中仙地域清水地区の書道教室メンバーによる「かな文字」書道作品展です。
- 期間／3月6日(火)から15日(木)まで
- 【中仙美術愛好会特別展】
大曲在住の画家・藤井栄治さんによる水彩画の展示会です。
- 期間／3月18日(日)から30日(金)まで
- ◆時間／午前9時～午後5時
- ◆会場／中仙市民会館(ドンパル)
- 【問い合わせ】
中仙市民会館(ドンパル)
☎0187-56-7200

3 EVENTS INFO.

3月の子育てイベント情報



未就園の子どもを対象にした、各地域子育て支援センターでのイベントをお知らせします。

| 地域 | 日時 | 開催場所 | 事業名 | 申込期限 |
|-----|------------------|---------------|------------------------------|------------|
| 大曲 | 8日(木) 10:00～ | サンクレスト 大曲 | みんなであそぼう | 6日 (火) |
| | 15日(木) 10:00～ | | | 13日 (火) |
| 神岡 | 6日(火) 9:30～ | すくすく だけっこ園 | お友達と一緒に 好きな遊びを 楽しみましょう | 5日 (月) |
| 西仙北 | 8日(木) 10:00～ | みつば 保育園 | お別れ会 | なし |
| 南外 | 16日(金) 9:30～ | 南外保育園 | おはなし なあ～に?! (お話の会) | 15日 (木) |
| 仙北 | 7日(水) 9:30～ | 仙北南 保育園 | お別れ お楽しみ会 | 2日 (金) |

※申し込み状況で、申込期限前に締め切ることがあります。

【問い合わせ・申し込み】 各地域子育て支援センター
大曲 ☎0187-62-5733 **協和** ☎018-892-3426
神岡 ☎0187-72-2244 **南外** ☎0187-73-1088
西仙北 ☎0187-87-7130 **仙北** ☎0187-63-1143
中仙 ☎0187-56-4139 **太田** ☎0187-86-9110

「まるこのひろば」3月のイベント案内

大花都市再生住宅1階の子育て支援拠点施設と高齢者生活相談所で各種イベントを行います。

| 日時 | 子育て支援拠点施設 | 高齢者生活相談所 |
|------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 3日(土) 10:30～ | 「ひなまつり」 (みんなで楽しく) | 【随時】高齢者と 子育て親子の生活相談 |
| 15日(木) 13:30～ | 「ためになる薬の話」 (薬剤師さんの話で一年を振り返ろう!) | |
| 16日(金) 10:30～ | 「いっしょに遊ぼう」 (親子で交流を) | 【随時】高齢者と 子育て親子の生活相談 |
| 17日(土) 13:30～ | 「みんなで歌おう!」の集い (大きな声を出してスッキリ) | |
| 26日(月) 10:30～ | 「お誕生会」 (3月生まれの子) | 【随時】高齢者と 子育て親子の生活相談 |

※体操教室…毎週月曜日(祝日除く)
 ①午前10時～②午後1時30分～
 「みんなで歌おう」の集い…毎月第3土曜日午後1時30分～

【問い合わせ】 まるこのひろば
 子育て=☎0187-63-2344 高齢者=☎0187-63-2544

子育ての悩みをご相談ください
まるこ電話相談
0187-63-4166
 午前10時～午後4時(水曜休館)

まるこの広場では子育ての悩み相談に応じています。気軽にご相談ください。

大仙市の行事予定 3月1日木～20日火

- 3/1 木
- 2 金
- 3 土
- 4 日
 - 大仙美郷クリーンセンター休日開場日
 - 午前8時30分～正午、午後1時～4時30分
 - 【家庭系ごみ】65円/10kg 【事業系ごみ】110円/10kg
 - ☎ 仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111
 - ☎ ささき歯科医院(仙北市) ☎0187-44-3548
 - ☎ 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
- 5 月
 - 平成24年第1回大仙市議会定例会(2日目)
 - 午前10時～■議場(大曲庁舎)
- 6 火
 - 平成24年第1回大仙市議会定例会(3日目)
 - 午前10時～■議場(大曲庁舎)
- 7 水
 - 平成24年第1回大仙市議会定例会(4日目)
 - 午前10時～■議場(大曲庁舎)
- 8 木
 - 子育てママの就職相談 ※要申し込み
 - 午後1時～4時 ■女性センター
- 9 金
 - 第39回大仙市大曲青少年健全育成推進集会
 - ※要申し込み ▶ P.12
 - 午前1時30分～(午後1時受け付け開始) ■大曲交流センター
- 10 土
 - 家庭でできる身近な地球温暖化防止講演
 - ・ダンボールを使った生ごみ堆肥化講座 ※要申し込み ▶ P.13
 - 午前10時～■大曲交流センター
- 11 日
 - ☎ 大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131
 - ☎ 高橋歯科医院(大曲) ☎0187-65-2238
 - ☎ 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
- 12 月
 - 「人と農地の問題解決に向けた施策」に関する説明会
 - ※要申し込み ▶ P.12
 - 午後2時～■神岡農村環境改善センター
- 13 火
 - 「人と農地の問題解決に向けた施策」に関する説明会
 - ※要申し込み ▶ P.12
 - 午後2時～■協和市民センター(和ピア)
- 14 水
 - 「人と農地の問題解決に向けた施策」に関する説明会
 - ※要申し込み ▶ P.12
 - 午後2時～■仙北ふれあい文化センター
- 15 木
 - 平成24年第1回大仙市議会定例会(5日目)
 - 午前10時～■議場(大曲庁舎)
- 16 金
- 17 土
 - 西仙北地域行政相談 ■午前10時～正午
 - 高齢者ふれあいセンター
- 18 日
 - ☎ 仙北組合総合病院・整形(大曲) ☎0187-63-2111
 - ☎ たかはし歯科医院(美郷町) ☎0187-82-1118
 - ☎ 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
- 19 月
 - 協和地域行政相談 ■午前9時～正午 ■水沢世代交流福祉館
 - 太田地域行政相談 ■午前9時～正午 ■太田庁舎相談室
 - 大曲地域行政相談 ■午前10時～正午 ■大曲庁舎市民ホール
 - 南外地域行政相談 ■午前10時～正午 ■南外コミュニティセンター
 - 協和地域行政相談 ■午後1時～4時 ■協和市民センター(和ピア)
- 20 火
 - ☎ … 休日外科当番医 ☎ … 休日歯科当番医 ☎ … 小児救急診療
 - 午前10時～午後4時 午前9時～正午 午前9時～午後3時
 - 休日救急医療(仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始
 - ☎0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時～午後3時

広告ページ

新作花火 コレクション2012

3 / 24 **土** 午後6時20分～
会場 / 大曲ファミリースキー場

新 作花火コレクションはその年の花火シーズンを先取りした花火の競技大会です。

全国からアイデアに優れた新進気鋭の若手花火師（花火作家）が選抜され、技術的に難しい小玉（4号玉10発・5号玉5発）で、創造性の高い花火を製作し、新作花火の発表会を兼ねた競技会を行います。

空気が澄み、花火がきれいに見えるこの季節。残雪のゲレンデに咲き誇る光の芸術をお楽しみください。

【問い合わせ】

NPO法人大曲花火倶楽部 ☎0187-62-6887
www.geocities.co.jp/omagarihanabiclub/

会場までのルート / Access Map



New Fireworks Collection in Omagari 21th 2012

人口と世帯数

※（）内は前月比

| | | |
|-----|----------|--------|
| 人口 | 89,591人 | (- 98) |
| 男 | 42,142人 | (- 62) |
| 女 | 47,449人 | (- 36) |
| 世帯数 | 30,893世帯 | (- 5) |



1/31現在

人口増減内訳

| | |
|----|------|
| 出生 | 46人 |
| 死亡 | 139人 |
| 転入 | 89人 |
| 転出 | 94人 |

- 編集発行 秋田県大仙市企画部総合政策課 ☎0187(63)1111(代表)
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 株式会社 松本印刷



大豆油インキを使用しています。

担当者コラム

今日も“だいせん日和”

▼福島つ子と秋田つ子の交流プログラムに参加し、冬の太田を体いっぱい満喫した福島の子どもたち。太田の火まつりでは、紙風船上げを体験。「ガンバレ福島」「支え合おう東北」。復興への願いを描いた紙風船が空高く舞い上がる。子どもたちは、紙風船の灯りが舞う幻想的な夜空を見上げた▼天筆焼きが始まり、人々の願いを乗せた炎が会場を暖かく照らす。フライングをのぞくと目の前に表紙の二人が。福島から来たその兄弟は、小さな肩を寄せ合いながら炎を見つめていた。「みんながずっと笑えるように」とお兄ちゃん。弟をやさしく抱き寄せる背中を写しながら、二人の願いが叶うようにと目を閉じた▼東日本大震災から間もなく1年。私たちは「あの日」を忘れてはならない。被災地の真の復興のため、今一度願いを一つに、力を一つにしよう。強い「絆」で結ばれた東北は、必ず立ち上がる。(け)